

○第二十二回 帝國議會 衆議院議事速記錄第十九號

明治三十九年三月二十二日(木曜日)午後一時十分開議

議事日程 第十八號 明治三十九年三月二十二日

午後一時開議

- 第一 國債ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第三 登錄稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- 第五 明治三十八年法律第十七號中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 輸出羽二重精練業法案(政府提出) 第一讀會
- 第七 明治三十二年法律第七十五號中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第八 明治三十二年法律第七十六號中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第九 貨幣法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十 請願ニ關スル決議案(外三名提出) (委員長報告)
- 第十一 東京市制案(江間俊一外) 第一讀會
- 第十二 新聞紙條例中改正法律案(橫井時雄外) 第一讀會
- 第十三 齒科醫師法案(青柳信五郎外一名提出) 第一讀會
- 第十四 明治三十八年法律第七十號中改正法律案(國井庫外一名提出) 第一讀會
- 第十五 民事訴訟法中改正法律案(森田卓爾外三名提出) 第一讀會
- 第十六 監視廢止ニ關スル法律案(望月長夫外六名提出) 第一讀會
- 第十七 屠場法案(川島龜藏外一名提出) 第一讀會
- 第十八 辯護士法中改正法律案(阿部德三郎外四名提出) 第一讀會
- 第十九 行政裁判ニ關スル建議案(宮古啓三郎外二十名提出) 第一讀會
- 第二十 穀物検査ニ關スル建議案(藤金作外三名提出) 第一讀會
- 第二十一 大角力常設館國庫補助ニ關スル建議案(奥野市次郎外十名提出) 第一讀會
- 第二十二 市町村長ニ對スル行賞ニ關スル建議案(廣信之介外六名提出) 第一讀會

○議長(杉田定一君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

國債ニ關スル法律案

登錄稅法中改正法律案

一 貴族院ヨリ送付セラレタル政府提出案左ノ如シ

貯蓄銀行法案

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

市町村長ニ對スル行賞ニ關スル建議案

提出者 關信之介君 石田孝吉君 矢島中君

久保伊一郎君 中谷宇平君 武市庫太君

辯護士法中改正法律案

提出者 阿部德三郎君 村松龜一郎君 入江武一郎君

大熊三之助君 小河源一君

一 恆松隆慶君ヨリ家祿賞典祿處分ニ關シ江間俊一君ヨリ犯罪檢舉ノ方針ニ關シ

政府ノ答辯ニ對スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

家祿賞典祿處分ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十九年三月二十二日

提出者 恆松隆慶

贊成者 磯部四郎 外二十九名

第一 家祿賞典祿處分ニ關スル質問主意

ル公債一千万圓ト豫定シ之ヲ議會ニ要求シ其協贊ヲ得且又請願調查ノ爲メ臨時

時秩祿處分調查局ヲモ特設シ毎年其經費ヲ要求シ殆ト其總金額三十萬圓ノ

協贊ヲ得及明治三十二年度ヨリ同三十八年度ニ至ル六年間右公債ニ對スル利

金每年五十萬圓ヲ要求シテ數百萬圓ノ協贊ヲ得テ(三十八年度ヲ除ク)之ヲ

給附セシ然シテ明治三十八年度ハ愈其處分ヲ決定スル爲メ公債發行未滿ノ端

金五十萬圓ヲ要求シテ其協贊ヲ得タリ如斯利金端金ノ協贊ヲ求ムル所以ノモ

ハ確然調査ノ結果ニ出テタルヲ論ハテタス

然ルニ其處分發表ヲ見ルニ請願ノ總件數十二萬三千餘件ノ内其採擇セラレタル

モノ僅々十數件ニシテ其處分ノ總金額ハ纔二十餘萬圓ニ過キスト云フ政府カ

議會ニ協贊ヲ求メタル金額ト今同處分發表ノ金額ト對照スルトキハ其差異比

較ニナラス程度ヲ脱スルモ亦甚シト謂ハサルヲ得ス豈之ヲ責任アル政府ノ處置ト

認ムヘケンヤ如何トナレハ昨年二十一議會ニ於テ政府ハ該處分ノ金額ハ一千万

圓ノ三分一即三百萬圓餘ニシテ之ニ伴隨スル端金五十萬圓ヲ要スト云ヘリ

然ルニ今ヤ一星霜ヲ經サル今日如斯雲泥ノ差アル處分ヲ發表セシハ蓋シ政府ハ

俄然其調査ノ方針ヲ一變シ所謂法律ヲ無視シタル結果ニアラスシテ何ソヤ其事

實理由如何

第二 舊丸龜藩士族石川宗一及齋藤五萬太ノ兩人ハ丸龜藩士族復祿請願ノ

デゴザイマス、先其第一ノ理由カラ申述ベマスレバ、明治二十年法律第五十號家祿賞典處分法ナルモノハ、諸君ノ御承知ノ通、藩制改革ノ當時不法ノ處分ヲ受ケタルモノニ對シテ、之ヲ保護スルコト云フガ如キ一種ノ慈心のヨリ出タルモノデアリマシテ、此不法ノ處分ヲ受ケタルモノハ、貴衆兩院ニ屢、請願ヲ重ネテ結果、遂ニ第二十議會ニ於キマシテ、之ガ家祿賞典處分法案ヲ制定スルコト云フコトニ達シタノデゴザイマス、其當時吾々此法案提出者ノ一人デゴザイマシタガ、亞イテ第十三議會ニ於キマシテハ、政府自カラ提案セラレマシテ、家祿賞典處分法施行法ナルモノヲ提出致サレマシテ、兩院ノ協賛ヲ經テ、即チ明治三十二年法律第八十四號ヲ以テ、給與公債ノ一千萬圓ヲ豫定シテ、遂ニ議會ノ協賛ヲ經タルモノデアリマス、想フニ政府ガ提出セラレマシタコト此一千萬圓ト云フ事柄ハ、固ヨリ其當時調査ノ必要上此金額ヲ算出セラレタモノト信ジマス、又爾後政府ハ臨時秩祿處分調査局ト云フモノヲ設ケラレマシテ、多クノ局員ヲ置キ、是ニ要スル經費ト云フモノヲ、一箇年實ニ三萬圓餘ニ當ルゲノ金額ヲ要求シ、又明治三十二年ヨリ、三十八年マデ、凡ツ七箇年其調査ヲ繼續セラレタル、而シテ其調査中ニハ議會カラモ、處分上ノコトヲ全部處分ガ出來ナケレバ、部分處分ヲスルガ宜カラウト云フコトデ、或ハ質問ニ、或ハ陳情ニ、當局者ニ迫リマシタ故ニ、當局者モ成ルベク斯様ナルモノハ速ニ處分シタイト云フガタメニ尙又追加豫算ト云フモノヲ設ケラレテ、調査局ノ費用ト云フモノヲ高メラレタ、爾後此調査費ヲ費シタ金額ハ三十萬圓ヲ下ラヌ有様デ、隨分多大ナル費用ヲ費シテ居ルト云フ有様デアリマス、然ルニ請願ノ件數ハ十三萬三千餘件デアリマス、其請願人ノ人員ハ二十九萬餘人デアリマス、前內閣ハ昨年中ニ決行シタルコトヲ秩祿處分ハ、殆ド全部不採擇不認可ト云フヤウナ有様ニナリテ居ルトデアリマス、其採擇セラレテ、給與セラレル金額ハ、一千萬圓ト云フコトノ公債ノ引當ラシテ居リナガラ、之ニ對シテ僅カニ三十萬圓ニ過ギナイゲノ處分金額ト云フコトデアル、又件數ノ如キモ僅ニ三十四件デアルト云フコトヲ承テ居ルトデアル、ソレデ此豫算ノ公債ノ金額一千萬圓ニ對シテ、僅ニ三十萬圓ニ過ギナイゲノ小額ノ處分デアッタト云フコトハ、實ニ驚クベキ、又給與ノ範圍ノ狹イニ驚カザルヲ得ザル有様デアリマス、固ヨリ理論ト事實ト云フモノハ符合スルモノデアルマイト信ジマスレドモ、是ノ如キ差異ノ起リマシタコトヲ見マスルニ至テハ、實ニ前申シマスヤウニ驚カザルヲ得ザル次第デアリマス、又當局者ハ實ニ其請願書ニ付イテ、審査討究、法律ノ適用上ニ於キマシテ、不合格者無資格ノモノデアルト致シマシテモ、一千萬圓ニ對シテ、三分ノ一以上、殆ド二分位ハ採用セラル、モノデアルト云フコトハ、現ニ前內閣ノ當局者ニ於テハ、此議會ニモ亦豫算委員會デモ、質問致シタコトニ答ヘラレテ居ル次第デアル、然ルニ實際ハ僅カニ三十餘萬圓ニ止マラントスルハ、政府ニ於テ此間ニ何カ消息ノアルコトデアラウト思ヒマスガ、殊ニ明治三十三年度以後三十八年度ニ至ル六箇年間一千萬圓ノ公債ヲ此年度處分スルストスレバ、一千萬圓ニ對シテ一箇年五分ノ利子トスルト、五十萬圓ノ利子デアル、ソレデ處分シタル以上ハ、利子ノ拂出ヲシナケレバナラヌカラト云フコトデ、年々五十萬圓ノ利子ヲ總豫算ヲ要求セラレタ、是亦議會デ協賛ヲ與ヘラレテ居タルデアル、是ハ凡ツ七箇年バカリデ、其金額ハ三百萬圓位ニモナラウト思ヒマス、尙又此公債ヲ附與スルストスレバ、ドウシテモ五十萬圓ニ充タナイトコロノ金額ト云フモノハ公債ヲ給與ガ出來ナイカラシテ、現金デ與ヘタナラヌ、其端金ト云フモノヲ又五十萬圓ト云フモノヲ總豫算前年度度々求メ來ラレタモノデアル、是ノ如ク公債ノ一千萬圓ニ對スル五十萬圓、又處分ニ際シ現金ヲ以テ與ヘナケレバナラヌトコロノ五十萬圓ノ端金マデモ、豫算デ此議會ノ協賛ヲ經テ居リナガラ、其處分ニ至レバ實ニ驚クベキ少額デラセラレタハ、殆ド議會ヲ欺カレタト云フヤウナ誇リハ免カレナイト思ヒマス、金ヲ取レナイカラシテ、イクラ天下ノ數十萬ノ士族ガ渴望シテ居ルトハ云ヒナガラ先、以テ從來ノ方針ヲ一變シテ、マルデ之ハ否決ニスルガ宜カラウト云フヤウナ、前途

ノ方針ヲ一變セラレタモノデアルト思ハレルデアルデアル、前豫算ノ一千萬ト云フモノヲ調査上ニ於テハ、少ナクモ一千萬ニ對スル三分ノ一ニハ下ラヌト云フデ居リナガラ、斯様ナ結果ガ見タノデアル、想フニ天下ノ二十九萬ノ人ニ涉ル多數ノ士族、大旱ノ雪電ヲ受ケタル如キマデニ待受ケテ居タルデアル、又是等ノ士族ノ中ニハ日露戰爭ガ起リマシテハ其子弟ノ自分ノ可愛イトコロノ子ヤ、孫ナドハ出征シテ居ル、其子弟ガ凱旋スルマデハ豫定殆ド十年間掛テ居ルトコロノ此請願ノ目的モ達スルデアラウト云ツテ、殆ド鍋ノ蓋ヲ明ケテ待テ居タルヤウナ有様デアル、又此長イ間ニハ東京ニ出マシタリ、イロクノ致シマシテ隨分少ナカラザル失費ヲ要シテ、今日ハ如何トモスベカラザル場合ノ境遇ニナリテ居ルトデアル、又二十九萬ノ人餘ノ士族ノ中ニ總代者ナドハ、間ニ餘リ不結果デアルカラシテ、其詳細ノ理由モ分ラヌカラシテ、マデ此不結果ノコトヲ報告モ能クシナイト云フヤウナコトモアルト云フコトデアル、僅カ近日東京アタリ電車ノ賃金ガ三錢ガ四錢均一トカ云フヤウナコトガアリマス、之モ交通連絡シテ四錢ニナレバ、現在ノ三錢ヨリハ便利カモ知レヌケレドモ、免ニ角一錢デモ上ガルト云ヘバ、勞働者ハ大イニ困難デアルト云ツテ、反對演說ヲシ、或ハ會社ニモ迫ルノデアル、此二十萬前後ノ士族ガ、長イ間待テニ待テヤツヲ斯ノ如ク不結果ヲ生ゼタト云フコトヲ一時ニ知タナラバ、如何ナル困難ノ餘リデ、大藏省ハ訴ヘルカモ知レヌケレドモ、免ニ角身分ガ士族デアラカラ、無法ノ處分ヲ受ケタル者ガ、之ニ對スル無法ノ行動ハシナイデアリマスガ、免ニ角餘リ意外ナ苛酷ナル處分デアリマスルカラシテ、之ニハ何カ理由ガアラウカラシテ、此天下ノ士族ノ迷ジテ居ル事柄ヲ判明ニナルヤウニ御答辯ヲ仰ギタイト云フノデアル、又議員ノ中ニハ、士族ガドウ云フ理由デ不認可ニナツタカ、御沙汰ガナイカラ、ドウ云フ有様デアラカト云フコトヲ議員ニ對シテ、或ハ書面ナリ電報ナド問合セテ、此諸君ノ中デモ彼ノ問題ハ、如何ニモ氣ノ毒デ、何トカナル問題デアナイカト云フコトヲ私等ニ御話モアツタヤウナ有様デアル、デ大體ハ私が第一ニ尋ネル譯ハ、斯様ナ有様デアリマス、ソレカラシテ(能ク分リマシタ、簡單ニ願ヒマス)ト呼フ者アリ)マア簡單ニナラナイ問題デアル、ソレカラ第二ノ質問ニ移リマスガ、是ハ舊ハ龜藩士族石川宗一、齊藤五萬太兩人ニ對スル政府ノ指令ノ内容ノコトニ付イテ何ヒタルデアル、此舊藩ノ廢藩置縣ト云フモノハ、明治四年ノ七月ニ一般ニナツタモノト思ヒマスガ、丸龜藩ノ如キハ即チ明治四年ノ四月ニシテ、各藩ヨリ殆ド早キコト四箇月デアル、其當局者ガ刷滅藩制ヲ斷行シタ上ニ於テモ、他藩トハ異ナル事情モアルヤウニ考ヘマス、然ルニ丸龜藩ノ復祿請願ノ總代トナツテ、明治三十年法律第五十號ニ基キマシテ、家祿不足額給與ノ出願ニ對シマシテハ、明治三十八年十月十四日付ヲ以テ、大藏大臣ハ左ノ指令ヲ下シタ、今其指令文ヲ茲ニ朗讀シマスレバ、「指令秩第一一二七九八號、石川宗一外千名總代、石川宗一外一名、右明治三十年法律第五十號家祿賞典處分法ニ基キ家祿不足額給與ノ件出願ノ處本願ノ家祿ハ舊丸龜縣ニ於テ政府ノ命令ニ依リ改定シタルモノナルヲ以テ願意採用シカトシ、明治三十八年十月十四日、此指令文中ノ本願ノ家祿ハ舊丸龜縣ニ於テ、政府ノ命令ニ依リ改定シタルモノデアラカラ、願意ハ採用シ難シタル、此政府ノ命令トハ如何ナル命令ヲ指シタモノデアラカラ、其命令ノ全文及願意ヲ採用シ難シタル詳細ナル理由ノ說明ヲ聽カント欲スルノデアル、私ガ今日質問スルト云フハ、此二件デアリマシテ、其理由モ此二點ニ分ケテ、政府モ成ルベク速ニ詳細ナル答辯——口頭デ胡麻化シナラヌ、書面ヲ以テ詳細ニ答辯アラント望ムノデアル、會期切迫ノ今日貴重ノ時間ヲ費シテ斯様ノ質問ヲ致シマスハ、甚ダ諸君ニ對シテ思綿デゴザイマスケレドモ、何分天下ノ二十萬ノ士族ニ關係スル大問題デゴザイマスル故ニ、私ハ已ムヲ得ズ茲ニ質問致シタデゴザイマス

○議長(杉田定一君) 江間俊一君

○星松三郎君 許可ヲ受ケタイコトガアル、市町村立小學校教員俸給國庫補助ニ關スル建議案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス、許可ヲ願ヒタウゴザイマス、是ハ午前カラ

リマス、忠貞ナル我同胞ニ斬付ケタル上、拘引シテ而シテブシ撲ル、甚シキハ死骸ハ二日間往來ニ曝サレタト云フコトガアル、罪モナイ人民何故是ノ如ク官吏ニ對シテハ犯

罪ノ檢舉ヲ爲サヌノデアルガ、以上ハ東京ノ而モ最近ノ事實ヲ私ハ舉ゲタノデアル、更ニ轉ジテ静岡縣ノ有様ヲ是ヨリ述ベルノデアリマス、是ハ少シ古イ話デゴザイマスルガ、是ニハ確タル證據ガ備フテ居ルノデゴザイマスカラ、本員ノ演説ニハ最も有力ナル證據ガアルノデゴザイマスカラ、暫ク御靜聽ヲ煩ハシマスル、静岡縣ニ於キマシテ本員ガ衆議院ノ總選舉ニ將ニ候補者トナランツスル年デアリマス、此年ノ春ニ於テ、中遠事件ト唱ヘラレテ、隨分新聞紙デモヤカマシキ疑獄事件ガ静岡縣ニアッタノデアリマス、而モ私ノ郷里、私ノ選舉區デアル、其被告人ハ静岡縣磐田郡富岡村平野政五郎ト云フ村長外村長助役、或ハ縣參事會員ト云フヤウナモノヲ十三名檢舉シタノデアリマス、此事件タルカ種々ナ社會ノ評ヲ受ケタノデアリマス、静岡縣ノ批政黨變ダトカ、曾アハ議會ノ問題トモナッタ事件デアリマスカ、併シナガラ其真相ハドウ云フモノデアルカト云フト、決シテ司法警察官ガ檢舉スベキ事件デハナカッタノデアル、其罪質ハ至ッテ微罪不檢舉トデモ申シマセウカ、既ニ司法警察官ノ職務ノ方針ニ於テモ、職務ヲ執ル上ノ方針ニ於テモ、檢舉スベカラザル事件デアッタ、ドウ云フノデアルカト云フト、即チ静岡縣磐田郡ナル者ハ濱松ト見附ノ丁度間ノ天龍川ノ東ニ位スルトコロノ郡デアリマス、ソレテ當時「ベスト」ガ濱松ニ迄侵入致シテ參ッテ、天龍川ヲ越セバ磐田郡ニ侵入スルト云フ時デアッタ、此時ニ當ッテ由々シキ一大事デゴザイマスカラ、縣廳カラモイロノ説諭致シテ、天龍川ヲ越シテ這入ッテ來タトキニハ、大變デアル、此際十分ニ豫防シナケレバナラス、就イテハ取敢ヘズ避病院ナルモノヲ立デナケレバナラス、縣費ニ於テ十分ニ補助ヲシテヤルカラ、磐田郡ノ村々ニ於テハ、一朝事アル場合ノ用心ニ避病院ヲ立デロト云フコトデ、遂ニ立テルヤウニナッタノデアリマス、其時分ニ此中遠事件ノ被告人ト相成リマシタ村長、殊ニ福島村ノ大竹清一郎ト云フ村長デアリマス、此村長ナルモノハ實ニ溫厚ナ君子デゴザイマシテ、而モ其村ハ漁士ノ多イ村デゴザイマシテ、村費ハ段々ト重ナッテ來テ、非常ナ其負擔ニ堪ヘナイ、貧乏ナ村デアッタ、ソコデ此村長ノ大竹清一郎ハ如何ニモ貧乏デ、此村デハ避病院ヲ建築スルト云フカハナイデアアルガ、サリテテ川ノ堰デ隣リカ「ベスト」ガ侵入シタノデアルカラ、何トカシテ避病院ヲ造リタイノデアル、種々苦辛經營ヲ致シタコロガ、何分ニモ村ガ貧乏シテ居、村税ノ負擔ガ出來ナイ、約一万圓掛ルト云フ工事デアッタ、トモヤリ切レナイノデゴザイマスカラ、是ニ於テ村長大竹清一郎ハ、善イトハ思ハナンデゴザイマスケレドモ、即チ假ニ一万圓ノ豫算ヲ立テ、ドウカ縣稅カラ何分ノ補助ヲシテ貰ヒタイ、確カ六分カ七分デアリマシタガ、サウ云フ譯ナレバ、縣費ノ方デ、補助ヲシテヤラウト云フノデ、縣知事ガ七分カ、確カ七分ト心得マシタガ、一万圓ナレバ七千圓ノ縣廳カラシテ、其村ニ補助スルト云フコトニナッテ、其七千圓ヲ以テ避病院ヲ造リ上ゲタト云フ事實デアッタノデ、之ヲ本員ノ選舉ノ運動屋デアルト云フ名義ノ下ニ、即チ檢舉シタノデアリマス、七千圓デ出來上ノ避病院ヲ一万圓掛ルト云ウテ、過大ノ豫算書ヲ出シタ、之ガ官文書偽造ダルト云フノデ、而シテ縣廳カラナッテ、而モ重罪ニ裁判ガ確定シテ、刑期ヲ務メタノデアルト、斯様ナコトニ裁判ガ出テ、而モ重罪ニ裁判ガ確定シテ、刑期ヲ務メタノデアルト、村長助役其他縣參事會員ト云フヤウナ、確カ十二人ト云フモノハ、皆同一ノ犯罪ノタメ刑ノ執行ヲ受ケタト云フノガ、即チ静岡ノ即チ中遠事件ノ真相デゴザイマス、成程裁判所ニ持出シタナラバ、村長ガ一万圓掛ルト云フ豫算ハ、過大デアッタ、本當デナイ、官文書偽造ト言ヒ得ルニ相違ナイ、之ニ依ッテ縣廳ヨリ得タルコロノ七千圓ハ偽ッテ取タノデアルカラ、欺詐取出ダト云フノデ、是ニ於テ一番、控訴、大審院、各裁判ノ階級ヲ經テ、到頭重罪ノ被告人トナリ、重罪ノ犯罪人トナッテ、刑ヲ勤メタト云フコトデアアル、當ニ此ノ如キ事實、吾々ヨリ見レバ明治ノ佐倉宗五郎ト評シテ宜イ犯罪デアルト、人民ガ貧乏デ負擔ニ堪ヘナイ、サレバト云フテ贅澤ニ飲ンダリ食ッタリスルノデハナイノデアリマス、此恐ルベキ「ベスト」ガ濱松マデ侵入サレタラバ、己レノ村ノ決シテ利害デナイノデ、即チ社會一般ノ甚ダ利害ニ關スルモノデアッデ、サウシテ此金デ避病院ヲ造ッタト云フコトデ、殆ド明治ノ佐倉宗五郎ト云ウテ宜イ事實デアッタ、此明治ノ佐倉宗吾

郎江間俊一ノ選舉ノ運動人デアルト云フタメニ、迫害シテ、遂ニ檢舉シテ、結局此
七千圓ト云フ金ハ追徴シタルデアリマス、贓物デアルト云フテ追徴シタルデアリマス、桂
内閣ハ何ゾ殘酷ナル、己ムヲ得ヌノデゴザイマスルカラ、村長助役等之ヲ縣廳ニ仕拂
タノデゴザイマス、豫算ニ於テ多少行違ヒアルニセヨ、縣廳ヨリ此七千圓ニ於テ立派ニ
公共ノ用ニ供セラレテ居ル、避難院ハヤカマシク云フナラバ、峨々トシテ天際ニ聳ヘテ、
今モ立派ニ公共ノ用ニ立テ居ル、其建築費ニ費シタモノ拘ハラズ、ソレハ詐欺シテ取
タル贓物デアリマス、其金ハ返セト云フテ、追徴サレテ拂ツタ、諸君、隨分殘酷ナコトヲ
ルデハゴザイマセヌカ、是ガ即チ靜岡縣ノ中遠事件ト云フ、而モ此村長助役ハ皆政友
會ノ會員デゴザイマス、當時桂内閣ガ政友會ノ會員、而モ桂内閣ニ反對スル江間俊
一ノ選舉人ナルガ故ニ運動屋ナルガ故ニ、迫害スル考デアラントデゴザイマセウカ、隨分
殘酷ナコトヲヤデ居ル、然ルニ是ノ如ク、其他澤山ゴザイマスルガ、先ヅ一例ヲ舉
ゲルト、靜岡ノ疑獄事件ハ左様ナコトデアル、之ニ反對シテ靜岡縣ニ於テハ、矢張官吏ノ
之ト同様ナ、恰度此事件ヲ檢舉スル當時、靜岡縣警部長ヲ勤メテ居ツタ、今九州ノ
方ヘ往テ居ルトコロ有川貞壽ト云フ者ガアル、ソレカラ其時分ニ靜岡縣警署ノ衛生掛
岡ノ警察署長ヲ勤メテ居ツタ笹原辰太郎ト云フ者ガアル、其他靜岡縣警署ノ衛生掛
ヲシテ居ツタ小沼棟逸、其他二三ノ官文書偽造、詐欺取財ト云フ罪ヲ犯シタ者ガアル
タノデアリマス、是ハ會テ松浦代議士ガ、確カ十九議會デアリマシタラウカ、此演壇デ演
說サレタコトガアル、此警部長、此警署、此警察官ハドウ云フ犯罪ヲヤデ居ツタカ
ト云フト、斯ウ云フデアリマス、是カ矢張本員ガ郷里ニ於テ、候補者ニナラウト
シタ當時デアリマス、明治三十五年ノ年度變リノ時分デアリマス、確カ是ハ年度
變リニ豫算ガ餘ツテ、之ヲ政府ニ返スノハ腕ガナイト云フノデ、使デシマヘト云フノデ、ヤ
タノデアラウト思ヒマスガ、此警部長此警署其他二三ノ官吏ハ、或ハ伊勢參或
ハ東京見物ニ旅行シテ、二百何十圓ノ金ヲ詐欺シテ取ツテ使ツテシマッタノデアリマス、
而シテ金額ハ僅カデアリマスルガ、免ニ角伊勢參ラシ、若クハ江戶見物ラシタイト云
フテハ、國費ノ金ハ取レヌノデアリマス、國庫カラ取ル金ハ、政府ニ嘘ヲ言ツテハ取
ヌノデアリマスカラ、一旦ハサウ云フ好イ加減ナ旅行モシナイ、曾テ往ツタコトナイ處
往ツタ如ク、書面ヲ拵テ、サウシテ居ツタ居ツタ人デ、比較的政友會ニ同情ヲ持ツテ居
トコロガ當時靜岡縣ノ書記官ヲシテ居ツタ人デ、比較的政友會ニ同情ヲ持ツテ居
人デゴザイマス、此中遠ノ村長共ヲ檢舉スルト共ニ、此仕拂拒シタルデアリマス、
當時書記官ガ拒シタルデアル、旅行モシナイノ旅行シタルト云フ取ルコトハ、甚ダ宜
クナイ、仕事モシナイノ職務上仕事ヲシタ如ク裝フハ宜シクナイ、ヨシタラ宜カラ
ウ、殊ニ會計検査院モヤカマシイカラト云フノデ、一旦取ツタ二百何十圓ハ使ツテシマ
カラ、ソレデハ己ムヲ得ヌ出シタ、請求書ニ對シテ、之ヲ出サセテアツタ金ハ、仕拂ハ間
違ツテ居ルト云フノデ、追徴ヲ食ツタ、併シ警部長以下ハ使ツテシマツタ、無イ金デ、賠償ノ
仕樣ガナイカラ、此度費目ヲ變ヘテ、國費カラ取ルノ止メテ、ソレハ間違ツテ居ルカラ
ト云フノデ、縣費ノ検査費ノ内カラ、更ニ同金額ヲ矢張旅行モシナイノ、旅行シタ
ト稱シテ、此検査費カラ更ニ取ツタノデアリマス、ソレト同時ニ犯罪ノ證據ハ國費カラ請
求シテ取ツタノガ、本當デアラナラバ、後ニ縣費カラ取ツタ云フ書面ハ、皆嘘デアラ
ル、後ニ検査費カラ取ツタノガ眞デアラナラバ、同額ノ金額ヲ所謂國費カラ請求シテ
取ラウトシタ書面ハ、全ク偽造デアル、彼ガ偽造デアラズ、是ハ偽造デ、二者ノ中偽
造ノ書面ガ其中ニ存シテ居ルノデアリマス、凡ソ犯罪ノ證據ト致シマシテハ、是程確實
ナモノハナイ、雙方共ニ縣廳デ押ヘタルデアル、而モ第二ニ検査費カラ取直シタ其請
求ノ書面ヲ見デモ、直チニ嘘ト云フコトハ分ル、即チ検査費ト云フモノハ、言フマデモナ
ク靜岡縣以外ニ旅行シタ旅費ハ取レナイデアル、曩ニハ國費カラ取ラウトシタカラ、或
ハ三重縣ニ往ツタリ、東京ヘ往ツタト、チャランホラン書イタノデアリマスガ、此度検査

費カラ取ルタメニ、靜岡縣外ニ旅行シテハ取レヌデアルカラ、縣内ヲ旅行シタ如クニシ
テ取ツタコロガ、靜岡縣廣シト雖モ三重縣ヘ往ツタリ東京ヘ往ツタト同金額ヲ出
張シタ日月ト同ジニ縣内ヲ旅行シタト云フニハ、嘘ヲ言ハナケレバナラヌ、僅カナ狹イ處
アリマスカラ、東ノ端カラ西ノ方マデ往ツタ來タト云フコトニシテ、取ラナケレバナラヌ、ソレ
デ苦心經營ノ結果、時ニ警察部ノ雇太田莊七ト云フ者ニ、ドコデモ宜イカラ靜岡縣内
ヲ歩リイタヤウニ請求書ヲ作ツテアノ金額ノ内容ハ知ラヌ、其當時ノ警部長ハ靜岡縣ヘ來
バカリデ、地理ハ知ラナイカラ、アノ金額ノ内容ハ知ラヌ、宜シト云フテ出シタガ、其
作ツタ旅費請求書ハ二日間ニ四度靜岡カラ秋葉山ヲ越ヘタト云フコトデアリマス、秋
葉山ノ窟ニハ天狗様ガ御住ヒデアルカラ、天狗ナレバ隨分靜岡カラ秋葉山ヲ二三四
度モ旅行スルコトガ出來ルノデアリマスガ、吾々人民ニ於テハ二日掛ラナケレバナラヌ、三
日ニ四度ハ奴摺キ、足ノ強キモノデアリマシテモ、人力車モ利ガナイ、駕籠モ利ガナイ、
而モ二十何里ト云フ里程ガアリマスカラ、ドウシテモ二日掛ラナケレバ往ツタ來ルコトガ出
來ナイ、ソレヲ三日ニ四度往復シタト云フテ請求シテ金ヲ取ツテ居ルノデアリマス、是等
ハ所謂偽造文書デアルト云フコトハ、他ニ證據ガナクテ分ルデアリマス、靜岡ノ地理ヲ
知ツタ者デアリマスレバ、サウシテ其金ハ何ニ使ツタカト云フニ、彼等ハ酒色ニ耽ツテ居ル、
斯様ナ事實デアリマスルカラ、當時靜岡縣警部長ガ拙者ノ運動者デアルト稱スルコロ
ノ村長ヲ檢舉シマシタカラ、私ハ直ニベイ返シ、私ノ一派ノ人ニ命ジテ、斯様ニ村
長ヲ檢舉スルナレバ、貴様ガ官文書偽造ヲ爲シテ居ルコトヲ直チニ檢舉スルト云フテ、私ハ寺
田宗作ト云フモノニ命ジテ、直チニ靜岡裁判所ヘ告發書ヲ提出シタルデアリマス、所ガ
何カ本省ト打合セラシテ、結局不起訴ニシタルデアリマス、ソレカラ如何ニモ是デハ人民
ノ犯罪ハ、明治ノ佐倉宗五郎デモ遠慮ナク重罪ノ懲役ニ處シナガラ、一方ニ官金ヲ以テ
酒食ニ耽ツタ警部長、斯様ナ者ヲ看過スルノハ、甚ダ不都合デアルト云フコトヲ論ジマシタ
ガ、終ニ私が告發シタルノハ不起訴ニナリマシタガ、其後彼等ノ同僚タル休職警部石川政
吉ナル者ガ更ニ告發シタルコロガ、取調モシナイデ、不起訴ニナツタ、靜岡地方裁判所ハ
何ガ故ニ人民ノ犯罪、殊ニ政友會ト云ヘバ遠慮會釋モナク檢舉シナガラ、官吏ノ犯罪
ハ何故ニ檢舉シナイノデアルカ、怪シカラヌ、此石川政吉ナル者ハ、全體警察官ナル者ハ
武士的教育ヲ受ケテ者ガ多イデアル、然ニ詐欺取財、官文書偽造ラシテ、其金ヲ以
テ酒食ニ耽ツタタラ、云フコトハ拾置カレヌト云フノデ、東京控訴院ヘ、抗告シタ、所ガ東
京控訴院ハ司法省ト打合セラシテ、不起訴ニシタ、因ツテ仍リ續イテ、石川政吉ナル者
ハナカナ勇氣ノ鋭イ男デアリマスカラ、進シテ大審院ヘテ往ツタ、大審院ガ又不起
訴ニシタ、是ニ於テ止ムナク司法大臣ニ、時ノ司法大臣ハ清浦主吾デアラト思フ、
此男ノ所ヘ持ツテ往ツタ、斯ウ云フヤリ方ハ宜クナイデナイカト云フテ、石川政吉ガ談判
ニ及ビマス、斯ウ云フコトハ澤山方々ノ府縣ニアルト云フ、丁度其時代ニ鳩山代議士
カラ何カ質問ガアツタノデアリマス、類ガ澤山アルト云フ、類ガ澤山アルト聞イテ、吾々益
怪訝ニ堪ヘマセヌガ、類ガ澤山アルト云フノデ、司法大臣ガ此起訴ヲ命令シナカッタ
云フノガ、實際ノ本件ニ對スル事實デアル、諸君、ドウ云フ譯デ、人民ノ方ハ無遠慮ニ
檢舉シテ、官吏ノ犯罪ニ對シテハ他ニ類ガアルト云フテ拾デ、置クノデアリマスガ、私ハ此
點ニ付イテ大ニ怪訝ノ念ヲ懷キマシタ、ソレデ先ツ第一ノ質問ヲ起シタルデアリマス、所
ガ政府ハ左様ナ方針ヲ取ルモノニアラズト云フテ、此文章ノ意味カラ云フテ、前内閣
モソナナ方針ハ取ラナイガ、現政府モソナナ方針ヲ取ラナイト云フヤウナ、冷淡ナ答ヲシ
テ居ルノデゴザイマスガ、少ナクモ前内閣ノヤリ方ハ、斯様ナ次第デアラト云フコトハ、此
證明ニ依テ明白デアラウト思フノデアリマス、以上ハ犯罪ニ對スル檢舉ノ甚ダ官吏
人民ニ對スル不公平ノヤリ方デアルト云フ、實例ヲ舉ゲタルデアリマス、次ハ第二問ノ
罪モ何モノナイ、即チ清廉潔白ナル人民ニ對シテ、桂内閣時代ノ司法警察官ハ、不注
意、無遠慮ニ檢舉ヲ致シタ點ニ付イテ論ジマス、其例ハ東京ニ於テモ少ナクナイノデアリ
マス、先ツ第一二二八ノ秋山定輔ナドハ、度々ソレバレタガ、審理ラスト、何デモナ

イ、是ハ平素警視廳ヤ桂内閣ニ反對スルカラ、其復讐デゴザイマセウ、結局露探ニサレテ、露探ト云フ何カ證據ガアルカト云ヘバ、警視廳ノ方デハ、何カアリサウニ云フテ居テ、段々調ベテ見ルト何モナイ、氣ノ毒ニモ遂ニ露探ニサレテシマ、是ガ桂内閣ノ政治家追害ノ實例ノ第一デアル、第二ハ私モ随分十九議會ノ開會前ニハ地租繼續ニ反對スル考デアッタカラ、吾ニモ追害シテアラウト思フノハ、今舉ゲタ中遠事件デ分リマス、無辜ナル罪ノナイ人間マデ、吾ニモ系統ノモノヲ追害シタ例ガ二ツアル、本員ガ丁度逮捕サレル前後ノコトデアル、下谷ノ區會議員タル荒井宗雄君ト云フモノデアル、次ニ現ニ下谷區ノ學務委員長シテ居ル、兵事會ノ理事長ヲモシテ居ル、岩松兼經君ト云フモノガアル、此兩人モ丁度靜岡ノ中遠事件デ、私ノ選舉ニ關係ノモノヲ引揚ケルトキニ、皆相前後シテ拘引シタ、調ベテ見ルト何デモナイ、罪モ何モナイ、其他米國法律博士福田辰五郎、法律家内ト云フ雜誌ヲ書イテ居リマス新聞記者、井關源八郎、或ハ進歩黨東京支部ノ幹事黒須龍太郎、ツレカラ東京辯護士組合ノ會員デアル木下佐次郎、小山愛治、是ハドウ云フ筋合カラ追害セラレタカ知リマセヌガ、全ク罪ガナイモノヲ無遠慮、不注意ニ逮捕シテ調ベテ見タラ何デモナイト云フノデ、放免サレタ、皆アサウナラモ誰モ惡ルカッタラト云フテ謝スルヤツモノナイデアリマス、コンナ目ニ逢テ何人デモ云フベカラザル損害ヲ受ケルノデゴザイマスガ、損害賠償ヲ訴ヘル場所ガナイ、丁度犬ニ噛附カレタヤウナモノデ、裁判所ハ殆ド狂犬ノヤウナモノデアル、詰リ噛附カレ損デアル、次ハ騷擾事件ノ山田喜之助、是ハ前司法次官デアル、福田和五郎、細野次郎、二ハ新聞記者ノ細野次郎、同シク工藤鐵男ト云フ見當デ、何時デモ同シ筋ノ方ヘ迫害ヲ持テ來ル、何レモ二ハ新聞記者デ、是ハ騷擾事件デフンシラレテ往ツタガ、調ベテ見タラ、何デモナイノデ無罪、全體人權ヲ尊重セラル、文明國、法治國、憲法國タル吾國ノ人民ヲ扱フノニ、宜イ加減ニ筋ヲ極メテ、罪モナイノ追害シテ縛ッテ、何デモナイト云フコトガ、屢アラレテ實ニ堪ヘザイマスガ、自由民權ナンソノ東京ニ於キマシテ今舉ゲタヤウナ例ハマダ外ニイクラモゴザイマスガ、免ニ角東京ノ裁判所ニハ種々難多ノ疑獄事件ガ起キマス、殊ニ騷擾事件ニ於テ、山田喜之助以下四人モ何デモナイノ縛ラレタノハ、是ハ新聞ニモ屢アラレテ話テ、近來稀ナ騷擾事件ト云フコトデ、混雜シテ居タカラ、ツヒ間違ッタノダカラ我慢シテ呉レト云フナラバ、我慢シテヤル、勘辨シテヤツデモ宜イガ、勘辨相成ラヌ事實ハ靜岡縣ニ澤山アル、是モ丁度拙者ガ十九議會ノ前ニ當テ、衆議院議員ノ候補者トナリ、選舉ノ間際デアリマス、靜岡ノ裁判所ナドハ事件ハ澤山ナインデアリマス、殆ド隱居所ノヤウナ譯デ、殊ニ事務ナドハ澤山見タコトガナイ檢事局デアルノニ、實ニ閑散ナ裁判所デアル、然レニ僅カ十二箇月間ニ是モ罪モナイモノヲ迫害サレテ居ル、是ハ諸君御承知ノ人モ多イガ、名ヲ讀ミマス、足立孫六、曾テ衆議院議員トナテ當議院ニ屢出席シタアル、而モ靜岡縣ノ名家デアアル、ツレカラ二橋四郎次、是ハ進歩黨ノ諸君ハ御承知デアラウ、掛川銀行ノ頭取デ、其時ハ衆議院議員デアッタ、是ナドモ捕マヘラレテ何デモナカッタト云フテ、本員ガ辯護ヲシマシタガ、即決無罪、如何ニモ亂暴デ、私ハ辯護ヲシタノデアルカラ、能ク知ツテ居ルガ、隨分無理ナ被告事件モ澤山アルケレドモ、此被告事件ホド無理ナ事件ハナイ、諸君御承知ノ通り、犯罪ナルモノハ何モ條件ヲ充タシテ、始メテ犯罪ニナルト云フコトハ、法律上ニ極マデ居ル、五ツノ條件ヲ充タセバ、何ノ罪ニナル、三箇ノ條件ヲ充タセバ何ニナルト云フコトハ極マデ居ル、偶ニハ五箇ノ條件ヲ備フベキ被告デ、二ツシカナイ、二ツ缺ケテ居テ無罪ニナッタカ云フ例ハ偶ニハアルガ、此二人ノ事件ノ如キハ、犯罪ヲ構成スル條件ガ一ツモナイノデ、餘リ馬鹿ナシウゴザイマスカラ、(簡單ヤ)ト呼フ者アリ)默レ、事苟モ人權問題ニ關シテ居ル、傍聽席カラ簡單ナド、無禮デアル、能ク名前ヲ上ゲロ(諸君々々ト呼フ者アリ)拙者ハ既ニ發言ノ權ヲ得タデアリマスカラ、此人權ニ關スルコトデアルカラ、何時間デモヤルカラ、其積リテ聽キタクナイ人ハ、ドウカ退席シタラ宜カラウ、拙者ハ内閣ニ向テ質問シテ居ル、此兩人ニハ一モ犯罪ノ條件ガナカッタデアアル、其事ヲ本員ガ論辯スルト、流石濱松ノ裁判官モ分ツデ、即決無罪ヲ宣

告シタノデアアル、田舎ノ裁判所デ代議士ヲ捕ヘテ、即決裁判ハナカノ、致サナイノデアアル、一三二日ハ置イテ裁判スルガ、此時ハ即決デ、直チニ無罪、隨分本人ニ取リテハ迷惑千萬デハゴザイマセヌカ、此足立孫六、三橋四郎次ハ兄弟デ遠州ノ名家デゴザイマスガ此二將某例ニ倒サレタ、三橋ハ其タメ家屋敷マデ賣リテシマタ、斯様ナゴザイベカラザル損害ヲ受ケテモ、訴ヘル所ガナイ、引續イテ次ハ本員デアアル、本員ガ偶々衆議院議員ニ當選シテ、ツレカラ召集ニ應セントスル間際ニ於テセラレマシタ、調ベテ見タラ何デモナイ、其他總務會員大橋頼廣、山田唯吉、議會ノ副議長岩田實、靜岡縣會計課長ヲシテ居ル池谷銆太郎、是等ハ皆拙者ノ選舉ニ縁故ノアル現ニ政友會員デアアル、僅ニ十二箇月ノ間ニ是等ヲ追害シテ見タケレドモ、皆罪ニナラナカッタト云フノデ、無罪放免ニナツテ居ルノデアリマス、如何デアリマス、斯様ナ名譽ノアル者ヲ唯濫リニ譴モ分ラヌ、政友會員デアツテ、江間俊一ニ關係ガアルト云フノデ、追害スルト云フニ至ッテハ、亂暴狼藉、實ニ驚カザルヲ得ヌデアリマス、茲ニ至ッテ司法警察官モ澤山事件ガアッタカラ、ツレハ所謂弘法モ筆ノ誤リ、猿モタマニ木カラ落チル杯ト云フ辯解ハ出來ヌダラウト思フ、僅ニ十二箇月ノ間ニ有ラレバ靜岡縣ノ名士ヲフンシラレタ見タコトガ、皆無罪放免ニナツテシマタ、私カラ申セバ隨分司法警察官トシテハ、大失態デアルガ、彼等ハ成功ヲ謳歌シテ居ルデアラウ、免ニ角斯ウ云フ事件ヲ起シタメニ、第十九議會ニ到頭江間俊一ハ出ルコトガ出來ナカッタ、暗カラ暗ニ葬ラレテシマッタノデアアル、江間俊一ヲ斯ウシテ、地租増徴ニ反對スルコトガ出來ナカッタヤツト、少クトモ彼等ハ成功ヲ謳歌シテ居ルデアラウ、而シテ官吏ノ犯罪ハドウデアアルカト云ヘバ、毫モ處分セザルノミナラズ、ツレノ、榮轉シテ居ルノデアアル、誰ガ榮轉シタカ、諸君ハ御存ジデアラウ、此事件ニ關係ノ司法警察官ハ多ク榮轉致シテ居ルノデアリマス、全體此ヤラレタトカ、縛ラレタトカ云フコトハ、政治社會デ何トモ思ハヌデアリマス、本員ノ如キハ尻トモ思ハヌデアリマズ、一旦獄ニ投ゼラレルト、隨分種々ナル影響ヲ受ケルノデアリマス、言フマデモナイ本員ノ如キハ覺悟シテ居ル、昔ハ大塔ノ宮様デサヘモ鎌倉ノ土牢ニ入ラレタノミナラズ、確カ淵部伊賀守トカ云フ者ノタメニ殺害サレタト云フコトモアル位デスカラ、吾ニガ無遠慮ニ政界ニ驅逐スル以上ハ、固ヨリ覺悟シテ居ルノデアアルカラ、一向何トモ思ハヌデアリマス、殊ニ吾ニガ先輩者ガ、當議院ニ御仲間ノ人ガ大勢居ラレマセウケレドモ、鐵意ノ下ニ呻吟シナイ者ハナイ位デアアル、東京デ本員ノ如ク彼此政治上公共上仕事ヲスル者デ、鐵意ノ下ニ呻吟シナイ者ハ、却テ稀デアッタ、豫テ獄友會ト稱シ、毎年懇親會ヲ開クノデアルガ、本員ノ如キハ此疑獄ノタメニ此獄友會ヘ入スルノ資格ヲ得タノミナラズ、精神修養ノ上ニ於テ寧ろ幸デ有タト思ツテ居ル、殊ニ平素讀書ノ時間ノナイノニ苦シテ居タノガ、牢ニ這ツタメニ、誠ニ結構ダト思ツタ、牢ノ内ハ實ニ哲學ヲ研究スルニハ、極メテ都合ノ好イ場所デ、身ハ遠ク塵俗ノ外ニ援キ、心ハ寂寞ノ郷ニ遊ビ、濁世ト交ワレテ、聲氣ノ通ズルノガ更ニナイデアリマスカラ、本ヲ讀ムノニハ誠ニ都合ガ好イ、好適地デアアル、本員ノ如キハ非常ニ利益ヲ得タ、決シテ負客ミヲ言フノデアリ、本員ハ牢ノ中デ平氣デ、獅子ノ兒ハ蹴落サレタリ合ノ底ニ、踏付ケテ根強ニ實ル麥畑ニ「疎々ノ道モ迎ルヤ富士參詣テドトヤラカシタ、妨害ガアレバイヤマデモ長クヤリマス、靜ニ御聽キニナレバ、成ル丈早ク止メル、本員ハ靜岡縣ニ往ク度サウ思フ、駿河路ヤ忍ロシキ物數多シ地震火災裁判所トハ諸君、靜岡ニ於テハ裁判所カラ災難ガ來ルノデアリマス、本員等ハ覺悟シテ居ルカラ宜イガ、覺悟シテ居ラヌ志士ナドハ、實ニ驚クノデアリマス、一朝幽囚ノ身トナルト、自由民權何ノゾ、先ツ眞裸體ニシテ、眞暗ナ所ヘフンシバテ往クノデアリマス、言フマデモナク全身體ノ自由ハ奪ハル、ノデアアル、宛然タル地獄デアアル、閻王ハ怒張リ張リ、午頭ハ鐵鞭ヲ振テ居ルト云フ場所デアリマス、ノミナラズ家庭ニ及ボス影響ト云フモノハ實ニ忍ロシモデアリマス、是ハ司法官ノ將來注意ヲ仰ギタイト思フノデアアル、隨分獄ニ投ゼラレタ結果トシテ、大切ナ親有ル者ハ、其大切ナ親ガ心配スル、又最愛ナル妻子有ル者ハ、其妻子ニ對シテモ非常ナ感慨ヲ惹起スデアリマス、斯様ナコトハ贅辯ノヤウデゴザイマスガ、能ク事情ヲ申サヌト、司法警察官ハ殆ド犬カ猫ノ

如ク志士ヲ扱フデアリマスカラ、能ク當局者ニ言ウテ置クノデアアル、彼ノ幕末ニ迫害ヲ受ケタル志士ノ例ヲ見ルニ渡邊華山ノ如キハ「麻繩ニ掛ル身ヨリモ子ヲ思フ親ノ心ヲ解クコシモカナ」無量ノ感慨ガ此一句ニアルノデアリマス、又高野長英ガ「嘆カル、身ヨリモ嘆ク老ノ身ヲ嘆キコソスレ嘆カル、身ハ」彼ノ本員ノ選舉ニ平素力ヲ盡ス人デアッタ岩松兼經ト云フハノ父君ノ如キハ、八十有餘ノ老年デ、而モ兩眼ノ明ヲ失フ所ハ、此老入ガ悴ノ岩松兼經ガ一旦獄ニ投ゼラル、群馬縣カラ飛出シテ來テ、私ノ居ル所ハ、非常ニ嘆カレタルデアアル、而シテ五ツニナル小供ガ、凛烈ナル嚴冬寒夜、十二時過マデ毎晩ト「サマガ御歸リニナッタラ、一緒ニ寝ヤウト」言テ泣イテ居ル、隨分斯様ナ悲慘ノ幕ハ所々ニ演ゼラレルコトニナルノデアリマス、殊ニ靜岡ノ中遠事件ノ被告事件ノ如キハ、悲慘極マル有様デアッタノデアアル、今申ス通り何モ惡イコトヲシテ金ヲ取ツテソレヲ酒食ニ使ツタト云フ譯デアハナイ、避難院ヲ建テタルデアリマス、本員ノ如キハ既ニ刑ガ確定シテ、保釋ノ身デアッタガ、是カラ役ニ服スルコト云フ時分ニ、水盃ヲシテ入獄シテ者ガ、十三人アッタノデアリマス、各村ニ於テ實際悲慘ナル佐倉宗五郎子別ノ段ガ演ゼラレタノデアリマス、隨分氣ノ毒ナ有様、本員ハ訣別ノタメニ同所ヘ出テ參テ、其有様ヲ見テ、實ニ悲慘デ、氣ノ毒デ、堪ラナカッタノデアリマス、之ニ反シテ官吏ノ犯罪ハ、毫モ檢舉シナイ、而シテ人民ニ向テハ——殊ニ志士ニ向テハ——政治家トカ、新聞記者ナドニ向テハ、隨分ヒドイコトヲシテ居ルノデアアル、騷擾事件ノ如キハ、吉澤何某ト云フ犬ヲ使ツテ、サウシテ澤山名士ヲフンシマッタト云フコトデアリマスガ、是ハ今何處ノ審理中デアリマスカラ、私ハ決シテ是ガ眞實デアルト云フコトハ申サヌデアアル、申サヌノデアリマスルガ、當時風説ニ斯ウ云フコトヲ聞イテ居タルデアリマス、河野廣中ノ如キハ、國民同盟會トカ云フモノニ加テ、現内閣ノ外交問題ニ反對シテ居ル、何デモ激シク反對スル、所謂彼ノ奉答文ニモ彈劾ノ意味ヲ加ヘタ程ノ人物デアルカラ、斯ウ云フコトキニ何トカ方法ヲ設ケテ、フンシマラナケレバ來ル議會ニ於テ面倒デアルト云フノデ、桂内閣ガフンシマッタノコト云フ噂ヲ聞イテ居ルノデアリマス、私ハ斯様ナ話ガアッテ見レバ、所謂吉澤ナル犬ヲ使ツタノデアアルマイカト思フノデアリマスガ、併ナカラ決シテ犬ヲ使ツテ志士ヲ迫害スルト云フコトハ、獨リツレニ止マラヌノデアリマス、即チ本員ヲ迫害シタ際ニモ、明ニ檢事ト警察官ト申合セテ、本員ヲ陷レントシタ形迹ガ確ニアルノデアリマス、事自分ノコトニ關シマスカラ、成ルベク控ヘタイノデコザイマスガ、今日ニ於テ之ヲ試ミナケレバ、時機ガ無イノデアリマス、ソレハ斯ウ云フノデアアル、本員ノ被告事件ニ於キマシテ、不利益ナ證人ヲ求メナケレバナラヌ、而シテ此不利益人間ヲ求ルニハ、犬デモ使ハナケレバナラヌト云フノデ、古イ自由黨ノ諸君ハ御承知デアアルガ、井上三郎ト云フモノガ、靜岡ニ居タル、靜岡新報ノ主筆記者ヲ致シテ居タル、所ガ本員ガ都合ガアッテ解備シタル人間デ、私ニ惡ヲ持ツテ居ル、此人間ヲ警部長ガ引張ツテ來テ、縣廳デ相談シテ、此席ニ在ラシヤル福島勝太郎君ノ所ヘ惡イ證據ヲ取リニ寄越シタコトガアル、其事柄ガドウシテ分タト云フト、其靜岡警察ノ犬ナル井上三郎——此三郎ガ他ニ犯罪事件ガアッテ縛ラレテ、サウシテ其己レノ犯罪事件ノトキニ、靜岡ノ地方裁判所ノ公判廷述ベタ筆記ガアル、ソレデ分ル、

矢島警部ヨリ私ヲ呼ビマシタカラ行キマシテ有川警部長ト大島ト警部長室ニ於テ話中駐柳檢事ヲ電話テ呼ビテ同人モ參リ江間大橋等ヲ付ケタイト云フ意ニテ協議ノ結果福島ノ證言ヲ要スルニ付同人ニハ決シテ罪ヲ被セザル旨ヲ以テ東京カラ竊ガニ呼シテ證言ヲ取ラナケレバナラヌ夫レ故ニ私ガ連レニ參ルコトニナリ早速度支田代上京シ旅館厚生館ニ參リ福島ニ逢ヒ内意ヲ告ケタル處福島モ進マズ又其處ニ澤田代議士モ居テ公然ノ呼出ニアラザレバ行クニ及バズト云ヒマスカラ私ハ又議論シテ罪人ニナルベキ處ヲ罪ヲ被セヌ事ニ受合テ來タルダカラ是非連レ行クト強テ申シ終ニ同行シテ當檢事局ヘ參リ駐柳檢事ト福島ハ樓上ニ於テ逢フコトニナリマシタ暫クシテ畫ニモナルカラ私ハ歸ツテモ良ヒカト云ヒマス駐柳檢事ハ君ガ歸ツテハ困マルト同檢事ノ席

ニ於テ鰥寡ノ馳走ニナリシ位デアッテ夫レカラ午後三時頃ニ漸ク福島ノ調ベガ濟シテ同道シテ歸リタ次第デ

斯ウ云フ公判廷ノ筆記ガアルノデアリマス、實ニ羅織的ニ檢舉シ、爬羅揚扶用拾ナイノミナラス、遂ニ彼等ハ官文書偽造、詐欺取財ト云フヤウナ斯様ナ惡事ヲスルノデアリマス、而シテ官吏ノ犯罪ハ檢舉シナイノデアアルカラ、官吏ノ惡黨共ハホホベキ榮轉シテ居ル、斯ノ如キハ非理ヲ以テ、我モ志士ヲ壓迫スルト云フノデ、甚ダ恐レベキ結果ヲ生ズル惡政策デアアル、殊ニ桂内閣ノ如キハ斯ノ如キ事ヲ屢スルノミナラス、理由ナキ議會ノ解散ヲ一度ナラス二度マデモ致シテ居ル、長晴登君「問題外」ト呼フ「問題外」デハナイ、君杯ハ耳ガ腐ツテ居ルカラ分ラナイ、靜ニ能ク聽ケバ分ル

○武藤金吉君 議事ノ進行ニ付イテ緊急動議ガアリマス、江間君ノ演説ヲ議事日程ノ後ニ廻シテ戴キタイト云フ緊急動議ヲ提出致シマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 今發言中デス

○森肇君 私人當議會ノ議員ノ出席數ガ定員ニ充タナイト思フ、江間君ノ大演説ヲ聽クニ、此不成立ナル議會ニ於テ、拜聽スルト云フコトハ、如何ニモ氣ノ毒ニ感ジマスカラ、御謝ヲ願ヒタウゴザイマス

○江間俊一君 演説ノ方ヲ少シ線上げテ貫ヘバ宜イ、人員ノ點呼ガケハ暫ク……ダラウト思フ、理由ナキ解散ヲ屢シ、ソレニ志士ヲ壓迫スルト云フ政策ヲ執ラレタ結果ハ、孰レノ國デモ「レベリヨ」……「レダスタンス」……否ナ、遂ニ「レボリユニシヨ」ガ成立タノデアリマス、即チ恐レベキ惡政策デアアルノデアリマス、佛國ノ革命ハドウデアアル、矢張志士ヲ壓迫シ、人民ノ自由ヲ重シジナイカラ起ツタノデアリマセヌカ、或ハ言フ、全體ノ佛蘭西ノ人民ハ自由熱ニ狂シテ居タルデアアルカラ、ソレニ障ツタノデアアル、兩方惡ルイト云フヤウナコトヲ言フ學者モアリマスガ、本員ノ見ルトコロハ決シテサウデナイ、ソレハ證據ガアル、決シテ自由民權熱ニ狂シテ居ラヌデモ、政府ガ桂内閣ノヤウナ遣方ヲスレバ、必ズ反抗ハ生ジテ來ルノデアアル、人民ノ反抗ガ多數ニナレバ、所謂革命ノ起ルト云フコトハ、當然ノ結果、自然ノ順序ニアルノデアリマス、穩デアル所ノ人民、即チ亞米利加ノ殖民ハドウデアアル、亞米利加、獨立戰爭史ヲ見レバ、直ク其事ハ分ルノデアリマス、即チ本國タル英國ガ或ハ航海條例ヲ勵行スルトカ、或ハ助力令狀ヲ稅關ノ小吏ニ與ヘテ、無遠慮ニ漫リ人民ノ家屋、人民ノ城廓ニ飛込シテ結果、遂ニ獨立戰爭ガ成立タタデアリマセヌカ、彼等ハ生存競爭ニ餘念ナク海外ヘ移ギニ出タ殖民デ、自由トカ、民權トカ、即チ政治的ノ思想ハ第二位ニ置イタル人民デアアル、此穩ナ人民デスラ、非理壓迫ヲ加ヘラレテ、遂ニ獨立ノ戰爭ヲ起シタルデアアル「ジョンアダムス」ノ如キ、「英國ノ虐政ニ對スル「レダスタンス」」ノ念ハ茲ニ始メテ起レリ我米國ノ獨立ハ茲ニ始メテ生レタリ」ト云フコトヲ絶叫シテ居ル「バトリックヘンリー」ノ如キハ「吾ニ自由ヲ與ヘヨ、然ラスンハ死ヲ與ヘヨ」トマデ絶叫シテ居ル、殊ニ注意スベキハ米國ノ「マサチユセツ」洲ノ檢事長ニ「ジェームス、オーチス」ト云フ人ガアッテ、職務上餘程頭ハ冷タケレバナラヌデアアル、此人ハ最モ冷靜ナル頭腦ヲ有シテ居タル拘ハラズ、此際ハ米國ノ殖民ニ同情ヲ表シテ居タルデアアル、或英國黨ノ——本國黨ノ辯護士ノ詰問ニ對シテ、法廷ニ於テ斯ウ云フコトヲ言フデ居ル「予ハ上席ヨリ賜リタル智能ヲ竭シ右手ニ此類ノ苛法酷律ヲ卻ケ左手其黨ノ小人ニ抵抗シ斃レテ後チ止マシ」ト言ツテ、法廷デ雄辯ヲ揮ツタコトサハアルノデアリマス、斯ノ如ク惡政策ハ恐レベキ結果ヲ生ズルト云フコトハ、明白デアアルガ、斯ル惡政策ヲ前内閣ハドウカラ輸入シタルデアアルカト云フ……

○長晴登君 定足數ガ缺ケテ居リマス

○江間俊一君 定足數ガ缺ケテ居レバ、定足數ニ充タナキニ又繼續シテモ宜イ

○恒松隆慶君 定數ガ缺ケテ居ルナラ、三時マデ休憩シテ、三時カラ引續イテ開會ニ

○議長(杉田定一君) 森君ノハ此日程ノ後トニヤル……

第三條 登錄國は、非ハ之ヲ以テ政附其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコト

登錄國債ヲ以テ政府其ノ他ノ質權ノ目的ト爲シタルコト

(八)

ヲ得ス

第四條 相續、遺贈及強制執行ノ場合ヲ除クノ外權利ノ移轉ニ因ル國債ノ
第五條 記名國債證券又ハ其ノ利札ヲ滅失又ハ紛失シタルトキハ其ノ記名
者ヨリ直ニ之ヲ所管取扱銀行ニ届出ツヘシ之ヲ發見シタルトキ亦同シ
前項ノ規定ニ依リ滅失又ハ紛失ノ届出ヲ爲シタル者ハ届出ヲ爲シタル後
三箇月ヲ經過シテ仍舊發見セサルトキハ代證券又ハ代利札ノ交付ヲ請求ス
ルコトヲ得但シ其ノ元金ノ償還期又ハ利子ノ仕拂期開始以後ハ代證券又
ハ代利札ノ交付ヲ爲サス

第六條 無記名國債證券又ハ其ノ利札ヲ滅失又ハ紛失シタル者ハ其ノ證券
又ハ利札ノ持參人カ償還又ハ仕拂ヲ受ケタル場合ニハ其ノ金額及ハ其ノ仕
拂ノ日以後ノ利子ヲ辨償スヘキ旨ヲ約シテ擔保ヲ提供シ其ノ元金ノ償還
又ハ利子ノ仕拂ヲ請求スルコトヲ得但シ取扱銀行ノ確實ト認メタル保證
ハ立テ擔保ノ提供ニ代フルコトヲ得
擔保ヲ提供シタル者カ債務ノ履行ヲ爲ササルトキハ擔保ヲ以テ之ニ充テ
過利額アルトキハ之ヲ還付ス
金錢以外ノ擔保ハ之ヲ公賣ニ付ス

第七條 無記名國債證券ニ對シ元金ヲ償還スル場合ニ於テ其ノ證券ニ附屬
スル利札中欠缺セルモノアルトキハ之ニ相當スル金額ヲ元金ノ内ヨリ控
除ス但シ既ニ利子仕拂期ノ開始シタル利札ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
前項利札ノ所持人ハ何時ト雖其ノ利札ヲ提出シテ控除金額ノ仕拂ヲ請求
スルコトヲ得

第八條 民法施行法第五十七條ノ規定ハ國債證券及其ノ利札ニ之ヲ適用セ
ス

第九條 國債ノ消滅時効ハ元金ニ在リテハ十箇年、利子ニ在リテハ五箇年
ヲ以テ完成ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
新舊公債證券發行條例ニ依リ舊公債ノ賦金ニハ本法中利子ノ規定ヲ、賦札
ニハ本法中利札ノ規定ヲ準用ス
國債ニ關スル現行法令中本法ノ規定ニ牴觸スルモノハ其效力ヲ失フ但シ時
效ニ關スル規定ハ此ノ限ニ在ラス
本法施行前ニ整理公債條例ノ規定ニ依リ滅失又ハ紛失ノ届出ヲ爲シタル無
記名國債證券及其ノ利札ノ處分ニ付テハ仍舊整理公債條例ニ依ル

第二

右議案ノ審査ヲ附託スヘキ委員ノ選舉
○議長(杉田定一君) 右議案ノ審査ヲ附託スヘキ委員ノ選舉
○議長(杉田定一君) 恒松君發議ノ通、十八名ノ委員、議長指名ニ御異議ハゴザ
イマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、日程第二、登錄稅法中改正法律
案ノ第一讀會、朗讀ハ省略シマス

〔政府ノ說明ハナイドアスカト呼フ者アリ〕

第三 登錄稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

登錄稅法中改正法律案
第十六條 削除

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○議長(杉田定一君) 日程第四、右議案ノ審査ヲ附託スヘキ委員ノ選舉

○議長(杉田定一君) 恒松君發議ノ通、御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、日程第五、明治三十八年度法律
第十七號中改正法律案第一讀會ノ續、委員長報告、藤崎明之君

第五 明治三十八年度法律第十七號中改 第一讀會ノ續(委員長報告)

〔藤崎明之君登壇〕

○藤崎明之君 本案ハ御承知ノ如ク、煙草ノ資本不足ノ際ニ之ヲ填補スル債券ノ
發行額ヲ制限致シテアツタ、同シク製鐵所ノ分ノ制限、是等ノ制限ニ對シテ、増發ヲ
許スト云フコトノ議案ニナツテ居リマス、委員會ハ一昨二十日全員揃ヒマシテ、調査ヲ
致シマシタガ、全體此法案ハ御承知ノ如ク一箇年ニ足ラナイノニ、既ニ早ヤ一倍程ノ増
額ヲスルト云フコトハ、果シテ必要ガアルヤ否ヤト云フ點ニ付キマシテ、審査ヲシマシテ、
政府委員ノ答辯モ求メマシタガ、煙草ハ此民製品ノ未ダ市場ニ殘留シテアル部分ガ
アツテ、從テ政府自然ノ賣捌キニ影響ヲ及ボシマシテ、一方又耕作煙草ハ成規ノ如ク
買上ケラ致サンケレバナラヌト云フ必要ノタメニ、ドウモ資本ノ固定ヲ生シ、尙又製鐵所
ノ方ハ、事業ノ進運ニ從ヒ、原料及製品ノ貯藏ト云フコトヲ免レヌ場合ニナリマシタノ
デ、ツレダケノ固定ノ資本ヲ又生ズルト云フ次第ニナリマス、兩案トモ已ムヲ得ザル
次第ト認メマシテ、全會一致ヲ以テ原案ノ如ク増額ヲ許スコトニ決定致シマシタノデ、
御報告ヲ致シマス

〔採決ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 採決ヲシマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハゴザ
イマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 恒松君發議ノ通、十八名ノ委員、議長指名ニ御異議ハゴザ
イマセヌカ

○議長(杉田定一君) 恒松君發議ノ通、十八名ノ委員、議長指名ニ御異議ハゴザ
イマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キ、全部ヲ讀題
ト致シマス

明治三十八年法律第十七號中改正法律案

確定議

○恆松隆慶君 委員長報告通り……
○議長(杉田定一君) 御異議ハゴザイマセヌカ
(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ確定ヲ致シマシタ、日程第六
輸出羽二重精練業法案第一讀會ノ續 委員長報告、中西光三郎君

第六 輸出羽二重精練業法案(政府提出、第一讀會ノ續(委員長報告))

(中西光三郎君登壇)

○中西光三郎君 輸出羽二重精練業法案ノ委員會ノ經過ト結果ヲ御報告ニ及ビ
マス、此委員會ハ三回開キマシテ、十分審査ヲ遂ゲマシタノデゴザイマス、所ガ政府ヨ
リ——追テ政府カラ發スルコトコノ命令ヲ以テ定ムベキモノハ斯ウ云フモノデアルト申シテ、
其草稿ヲ提出セラレマシタ「命令ヲ以テ定ムベキ精練ノ方法工場ノ設備ニ付テハ概要
左ノ事項トス、一、蒸汽精練ニ爲スベキコト、一、蒸汽乾燥ニ爲スベキコト、但燒損又
ハ燒汚ヲ防グベキ裝置ヲ爲スベキハ炭火乾燥モ防ケンシ、一、「ロール」仕上ゲンニ爲スベキ
ト、但重目物ノ如キ特別ノ事情アルモノハ例外トス、一、絹地ニ裂損ヲ生ズル絞リ方ヲ止
メシムルコト、一、精練仕上ニハ絹質ヲ損害スベキ激烈ナル藥品材料ヲ使用スベカラザ
ルコト」是ノ如キ命令ヲ追テ發スルモノ云フコトヲ政府カラ辯明ヲ致シマシタ、ソレニ依
テ委員會モ満足ヲ致シマシテ、終ニ本案ハ政府案通り即チ貴族院修正通可決致シマシ
テゴザイマス、此段御報告ニ及ビマス

(早速整爾君登壇)

○早速整爾君 私人最モ簡單ニ此案ニ反對ヲスル意見ヲ申述ベヤウト思ヒマス、帝國
議會アツテ以來、斯様ナ大修正ヲ加ヘマシタル議案ト云フモノハ、未ダ曾テ見ナイノデ
ゴザイマス、從テ世ノ中ニハ此貴族院ノ修正ヲ以テ、骨抜き案ト稱ヘテ居ル、如何ニモ
無慘ナル修正ヲ加ヘラレテ、政府ガ最初提出シタル精神ト云フモノハ、多クハ總テ
此修正ノタメニ没却サレテ居ルノデゴザイマス、而シテ政府ト云フモノハ此貴族院修正
對シテハ、一體御反對ヲサナケレバナラスノデアラウト云フ位ニ考ヘタノデアリマス、尙固
執シテ此案ノ通過ヲ希望シテ居ラル、ノデアリマス、私ハ貴族院ノ此大修正ニ依
テ、此案ガ良クナツタ、更ニモウ一層序デニ良クシタイト云フノガ、私ノ意見デゴザイマ
シテ、詰リ之ヲ廢案ニシテシマフト云フ、私ノ考ヘタル、骨抜き稱ヘラル、此修正案デゴザ
イマス、併ナガラ實際ニ於テハ、未ダ吾々ガ危險ニ思フ骨ガ殘テ居ル、序デニ此
骨ヲ抜イテシマハナケレバナラス、詰リ政府ガ——干涉キノ農商務省ガ、其案ヲ提出
シテ、當業者並ニ輿論ガ反對シテ居ル、精神ヲ貫クコトガ出來ナイノデアル、ソレハ極メ
テ簡單ニ申述ベマス、此修正案第二條ニ於テ、必要ナル命令ヲナスコトヲ、處
分ヲナスコトヲ得ト云フ意味ノ箇條ガ殘テ居ルノガ、私ガ考ヘテ最モ危險ナリトスル
コトデアリマス、政府ハ之ヲ以テ必要ナル命令ヲ以テ、必要ナル處分ヲナシテ、サウシテ、此
精練業ニ向テ干涉ヲ試ミヤウトスルノデアル、前ニ出シタル特許制度ノ精神ハ多少改マ
シタヤウデアリマス、尙法律自體ニ命令スル權利ガアル、ソレカラ處分ヲスル權利ガ
アルト云フコトニナツテ參リマス、精練業者ニ對シテ、干涉或ハ農商務省ガ干涉スル
コト云フ精神ト云フモノハ、餘程殘テ居ルモノデアルカラ、之ヲ序デニ抜イテシマハナケレバ、
此事業ノ發達、此事業ノ進歩ト云フモノニ對シテハ、多大ノ障礙ヲ與フルモノト信ジ
居ル、斯様ナ法律ヲ設ケテ當業者ニ向テ、イロ／＼煩累ヲ與ヘ、現在自由競争的ニ
進歩シタル、發達シタル、此精練業ノ進歩ヲ妨ケルト云フコトハ、吾々ガ實ニ反

對シナケレバナラス點ヲデゴザイマス、元來精練業ノ現在ノ狀況ニ照シテ見テモ、政府ガ
是ノ如キ法律ヲ拵ヘル必要ガドコニアル、自由競争ニ一任シテ其進歩ヲ圖リ、其改良ヲ
圖ルト云フコトニスレバ、現在ニ於テハ必ラズ此法律ヲ設ケナケレバナラスト云フ弊害ハ、
尙シモ是ヲ認メナイノデアル、羽二重貿易ノ近來非常ニ進歩シタシ、從テ精練業ハ自
由競争ヲ以テ、漸次改良シツ、漸次進歩シツ、アル、此時ニ當テ政府ガ要ラザル干
渉ヲシテ、サウシテイロ／＼當局者ニ向テ煩累ヲ與ヘルト云フコトハ、少シモ利益ノナ
イコトデアラ、弊害ノアルコトデアルト云フコトハ、誰ガ考ヘテモ能ク分ル話デアル、普通取
締規則ヲ撰ニ農商務省令五號デゴザイマシタカ、既ニ取締規則ガ制定セラレテ居ル、此
事業ニ對シテ取締ヲシナケレバナラスト云フナレバ、農商務省令ヲ以テ取締ルコトガ出來
ルノデ、此上ニ法律ヲ設ケテ、故ラニ當業者ノ煩累ヲ及ボシ、事業ノ進歩改良ノ邪魔ニナ
ルト云フヤウナ法律ヲ設ケル必要ハ少シモナイノデアリマス、政府ハ貴族院並ニ衆議院ノ
委員會ニ於キマシテ、命令ノ内容ヲ示シテ、免ニ角命令ハ斯ク／＼ノモノニスルト云フコ
トヲ約言セラレタ、其約束ノ下ニ先ヅツレナラバ此修正案デ宜カラウト云ウテ、御贊成
ニナツタ方モアルヤウデアリマス、是ハ大變私ハ分ラヌ話デアル、政府ガ——此
度ノ政府ガ斯ウ云フ風ニ命令スルト云フ内容ヲ示シタカラウト云テ、此法律ニ贊成スル
譯ニ往カス道理ダ、絕對ニ政府ガ命令ノ權利ヲ有シテ居ル以上ハ、此度ノ内閣ハ命令
ノ内容ヲ示シテ、政府ハ干涉ヲシナイト云フ約束ラシテモ、此約束ハ吾々信ズルコトガ出
來ナイ、後ノ内閣ヲ取ル者ガ、法律ヲ正面ニ解釋シテ、其命令ヲ變更スルト云フ曉ニナ
レバ、如何ナル干涉デモ加ヘルコトガ出來ル、如何ナル干涉デモ加ヘルコトガ出來ルト云
フヤウナ法律ヲ茲ニ存シテ置クノハ、唯政府ガ命令ノ内容ヲ示シタルト云フコトヲ信ジテ、
即チ此修正案ニ贊成スル弊害デアル、私ハ政府ガ此度委員會ニ於テ、約束シタルト云フ、
アノ命令ノ内容アルト云フ故ヲ以テ、即チ本修正案ニ贊成スルコトガ出來ナイノデアリ
マス、免角農商務省ハ或ハ特許デアル、或ハ專賣デアルトカ、詰リ民間ノ事業ニ對シテ、
干涉政略ヲ行フコトヲ以テ得意シテ居ルノデアリマス、一方ニ生絲検査法案ノ如キモ
ノハ、固ヨリ引込マサレテ、一手專賣法案ハ提出セラレントシタルト云フ有様デアル、而シ
テ殘テ居ル案ハ、此案デゴザイマス、私ハ生絲検査法案ノ如キ勿論憐ナ運命ニ接
シカケテ居ル、ソレカラ嫌寸專賣法案ハ政府自カラ提出スルコトヲ見合ハサレタ、序デ
此羽二重法案ニシテ否決セラレバ、恰度農商務省ノ案ハ是デ片付イテシマウノデアリ
マス、滿場諸君ノ贊成ヲ望ムノデアリマス

(木村半兵衛君登壇)

○木村半兵衛君 輸出羽二重精練業法案ノコトデ、先刻委員長ヨリ報告ガゴザイマ
シタガ、其報告ニ於テ當時委員會ノ狀況ヲ諸君ニ御披露スルコトガ不十分ト思ッテ居
リマシタガ、故ニ、私ハ委員會ニ於テ此案ニ贊成シタル理由ヲ一言申シテ置キタイト思ヒマス、
唯今早速君カラ續々御述ベニナリマシタガ、本員ノ如キモ同シヤウナ矢張考ヲ持ッテ居
リマシタ、併シ此當業者一般ノ有様ヲ考ヘ、總テノ上カラ考ヘテ見マスルノニ、政府ノ出シマシ
タ前ノ法案ハ、到底實施スルコト云フ、非常ナ不都合ガ出來ルト云フコトヲ見出シマシ
タ、其後貴族院デ修正シナリマシタコトモ、唯今早速君ノ仰シタル通り、大キナル骨ハ
取レマシタガ、少シ差支ノ骨ガ殘テ居ルト云フコトヲ見出シタ、ソレハ即チ早速君ノ仰
シタル命令ト云フコトニ付イテ、不安心デゴザイマス、然ルトコロ政府ニ於テ其命令ノ内
容トモ申シマセウカ、御示シナツタ、斯ウ云フ命令ヲ出ス積リゲト云フコトヲ御示シ
ナツタ、其ノ御示シナツタ箇條ニ付キマシテ、政府委員二十分ナ御確メシタノデゴザイ
マス、其順序ヲ舉ゲマシタコト云フ、政府ノ申サレルニハ、此輸出羽二重精練業法案ヲ
施行スルコト云フコトハ、政府ノタメデアナイ、當業者ノタメニスルモノデアルカラ、之ヲ施行
スル場合ニハ、十分當業者ト協議ラシテ、圓滿ニ此法案ノ行ハル、コトヲ努メルヤウニ

第七 明治三十二年法律第七十五號中改 第一讀會ノ續(委員長)

〔海野謙次郎君登壇〕

○海野謙次郎君 明治三十二年法律第七十五號中改正法律案ノ委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、本案ハ極ク簡單ナモノデゴザイマス、僅カニ第一條中ニ臺灣ノ下ニ「樺太」ノ二字ヲ加フト云ノデゴザイマス、委員會ハ一回開キマシテ、直チニ之ヲ決シマシタノデ、御參考ノタメニ第一條ノ朗讀ヲ致シマスガ「第一條臺灣ニ在勤シタル文官判任以上ノ者ニテ三箇年以上ノ續任ヲ受ケタル者ニハ官吏恩給法並官吏遺族扶助料ノ在官年數計算ニ於テ其在职一箇月ニ對シ半箇月ヲ加算ス」是ガ第一條ノデゴザイマス、其臺灣ノ次ニ「樺太」ノ二字ヲ入レルト云フコトデ、委員會ハ是ニ對シテ樺太ハ新領土デアル、殊ニ氣候風土モ異ナル所デゴザイマス、臺灣同様に其恩給ヲ與ヘルガ宜カラウト云フコトデ、全會一致ヲ以テ決シマシタデゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス、亞イテ外一件ハ、即チ明治三十二年法律第七十五號中ノ改正法案、是モ同様第一條中ニ「臺灣」ノ下ニ「樺太」ノ二字ヲ加ヘタイト云フノデ、是ハ軍人ノ方デゴザイマス、唯先刻朗讀致シマシタ第一條中ノ文官ハ三箇年デゴザイマス、軍人ハ三箇月デゴザイマス、三箇年ト三箇月ト相差スルデゴザイマス、法律第七十五號ノ唯今申述ベシマシタ理由ト同様ノ理由デ、全會一致ヲ以テ決議ヲ致シマス、此段御報告致シマス

〔採決々々ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 日程第七、明治三十二年法律第七十五號中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス

〔委員長報告通りト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ニ付イテ二讀會ヲ開クト云フニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○恆松隆慶君 此案ハ頗ル簡單デゴザイマス、ドウカ直チニ二讀會ヲ開キ讀會ヲ省略シテ決議セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發議ノ通り、直チニ二讀會ヲ開キ三讀會ヲ省略シテ決定スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キ、全部ヲ讀題ト致シマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 委員報告通り、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ、日程第八明治三十二年法律第七十六號中改正法律案第一讀會ノ續

〔採決々々ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔採決々々ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔採決々々ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔採決々々ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔採決々々ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔採決々々ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔採決々々ト呼フ者アリ〕

致シマス、斯ウ云フコトガ第一デアッタ、第二ニハ此法案ニアル命令事項ハ、委員會ニ示シタル範圍内ニ於テ、必ズ致シマス以上ノ嚴令ハ、決シテ出シマセヌ、斯ウ云フコトヲ誓ハレタ、第二ニハ精練工場設備ノ如キモ、蒸汽練リ、蒸汽乾燥ト云フコトニシタケレドモ、土地ノ事情、或ハ工場ノ裝置等ニ依ツテハ、炭火乾燥モ亦許ス場合モゴザイマス、斯ウ云フコトヲ明言セラレタ、ソレカラ「ローラ」仕上ケノ如キモ、唯重目、輕目ト云ウデハ制限ガ判然致シマセヌガ、即チ輕目ト云フノハ、五匁以内ノ品デアルト云フコトヲ明言セラレマシタ、第五ニハ精練所ノ設備ト云フモノニ於テハ、稍、完キモノハ決シテ認可シナイト云フコトハ云ハヌ、スルヤウニ致シマス、大抵ノコトハ設備ノ稍、完キモノハ認可シマス、ソレカラ又地方ノ官吏ガ各工場ヲ巡見シタリシテ、往々當事者ノ妨ゲニナルヤウナコトガ大分今日マデゴザイマス、ソレ故ニ是等ノコトモ十分監督セラレヤウニ望ミマスガ、ト云ツタラ、其方ヲ十分注意シテ居ル、必シモ倉庫ヲ設ケテ、帳簿ヲ斯ク「セイ」ト云フコトヲ申シマセヌト云フコトヲ誓ハレタ、即チ第六ノ私が憂フルトコロノ六項ニ向シテ、政府ハ十分吾々ノ望ムトコロヲ充タスト云フコトデゴザイマスカラ、故ニ委員會ハ是ニ贊同シマシタ、且加フルニ一年間ノ猶豫ガゴザイマス故ニ、此施行中ニ於テ、政府ハ委員會デハ吾々ニ斯ク申シタケレドモ、實地ノ場合ニ吾々ニ申シタコト、齟齬スルヤウナ場合ガゴザイマス至テハ、此等ノ議會デ、或ハ廢案論ガ起ルヤウナコトガ必ズナイト期セラレマセヌカラ、政府ハ其事ヲ御注意下スツテ、吾々當業者ノ妨ゲニナラヌヤウ、斯ク政府ハ取締法ヲ設ケタケレドモ、此方法ハ吾々ニ利益デアラデ、害デナカダト當業者ニ云ハレヤウニサレルコトヲ切ニ望ムト云ツタラ、當局者ハ如何ニモ之ヲ諒トシタト云フコトデ、之ニ向テ贊成シマシタ趣意デゴザイマスカラ、宜シク……

〔採決々々ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フ御方ノ起立ヲ願ヒマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 二讀會ヲ開クベシト云フ方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開カレテ、斯様ナ問題ハ實業家ニ最モ宜シイト認メマス、讀會ヲ省略シテ決定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發議ノ通り、直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ決定スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キ、全部ヲ讀題ト致シマス

輸出羽二重精練業法案 確定議

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 委員長報告通り、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定ヲ致シマシタ

○恆松隆慶君 第七、第八ハ一括シテ……

○議長(杉田定一君) 第七、第八ノ日程ハ同一委員ニ付託シテアリマシタ、合セテ委員長ヨリ報告サセマス——海野謙次郎君——

〔異議ナシ〕御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○恆松隆慶君 此案モドウカ直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ノ順序ヲ略シテ決セラレシコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發議ノ通り、直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定スルコト云フニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、二讀會ヲ開キ、全部ヲ議題ト致シマス

明治三十二年法律第七十六號中改正法律案

確定議

〔異議ナシ〕御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 委員長報告通り、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ、日程第九、貨幣法中改正法律案 第一讀會ノ續 委員長武富時敏君

第九 貨幣法中改正法律案(政府提出貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○武富時敏君 是ハ極ク簡單デゴザイマスカラ、是ヨリ御報告申上ゲマス、去ヌル十九日、二十日ノ兩日委員會ヲ開キマシテ、貴族院ノ修正ヲ經タル通り可決スベキモノト委員會ニ於テ決定致シマシタ、此段御報告申シマス

〔採決ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 採決致シマス、本案ニ付イテ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ可決確定アラシコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定スルコト云フニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス

貨幣法中改正法律案(政府提出貴族院送付)

確定議

〔委員長報告通り〕御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 委員長報告通り、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ

○恆松隆慶君 私ハ此場合緊急勅諭ヲ提出致シマス、今日ノ讀會ニ貴族院ヨリ送付ニナリマシタコトノ貯蓄銀行法案ト云フモノガ報告ニナッタノデアリマスガ、會期切迫ノ今日デゴザイマスカラ、此場合日程ヲ變更追加シテ、委員ニ付託シタイト云フ考デゴザイマス、先以テ日程變更ノ勅諭ヲ提出致シマス

〔贊成々々〕御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 此際貯蓄銀行法案ヲ緊急事件トシテ、日程ヲ變更シテ議スルコト云フ恆松君ノ勸諭ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長杉田定一君 御異議ハナイト認メマス

貯蓄銀行法案(政府提出貴族院送付)

第一讀會

○恆松隆慶君 日程變更ニナリマシタ以上ハ、此案ハ十八名ノ委員議長指名アラシコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、十八名ノ委員、議長指名ト云フコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、日程第十、請願ニ關スル決議案 委員長花井卓藏君

第十 請願ニ關スル決議案(竹越與三郎君外三名提出)

〔花井卓藏君登壇〕

(委員長報告)

○花井卓藏君 諸君、委員會ノ成績ヲ報告致シマス、去ル二十日ニ會議ヲ開キマシテ、委員長理事ノ互選ヲ行ヒマシタ、其結果本院ニ於キマシテハ極メテ異例デゴザイマスガ、年少者ヲ委員長ニ、年長者ヲ理事ニト云フコトデ、辱クモ本員ガ委員長タルノ光榮ヲ有スルコトニ相成リマシタ、引續キ會議ヲ開キマシテ、十分ナル審査討究ヲ遂ゲマシテ、修正ノ通り全會一致ヲ以テ決定致シマシタ、是ニテ報告ハ濟ムノデアリマスガ、特ニ列席ノ委員諸君ヨリ、議決ノ結果ヲ生ミタル經過ノ一、二ヲ報告セヨト云フ御注意デゴザイマシタカラ、其點ヲ極メテ簡單ニ申上ゲヤウト存ジマス、第一ニ原案ハ「請願ニ關スル決議案」トアリマス、ツレバ委員會ニ於キマシテハ「法律ノ制定ニ關スル請願取扱規則」ト改メタルデアリマス、之ヲ改メタル理由ハ、決議ニテモ事足ルベキコトデアリマスケレドモ、併ナガラ請願ノ權利ヲ有效ニ保障スル上ニ於テ、力ノアルコトニ致シマスルニハ、一時限リノ決議ヨリハ、久シキ互立規則ノ方ガ宜イト云フコトデ、表題ヲ改メタルデアリマス、而シテ憲法第五十一條ノ規定ノ下ニ於テ、議院自ラ内部ノ整理ニ關スル規則ヲ制定スル權利ヲ有シテ居ルノデアリマスカラシタ、此表題ヲ修正ハ憲法議院法ニハ觸レナイノデアリマス、又原案ノ「改廢ヲ要スベキ」ト云フ文字ヲ削リマシタ所以ハ、法律ノ改廢モ均ク法律ノ制定ニ俟タナラヌノデアリマスカラシタ、既ニ法律ノ制定ナル文字ニシテ存スル以上ハ、自ラ改廢ヲ要スベキ云々ノ意味ハ、包含セラレタルデアリマス、第二ニ原案ニ於キマシテハ、「採擇スベキモノト決定シタルトキハ其案ヲ具シテ報告スベシ」トアル、其案」ノ文字ヲ改メテ「其法律案」ト致シマシタノハ、明確ニ文字ヲ表ハシテ、他日ノ疑ヲ避ケタルデアリマス、又「報告スベシ」ヲ「報告スルコトヲ得」ニ改メタル理由ハ、報告スベシト云フコトニ致シテ置キマスルト、義務的ノ規定トナツテ、恣意ナル法典ノ編纂ナドノ請願ガ出テ參リマシタトキニ、請願委員會ニ於テハ、其大法典ノ法律案ヲ編纂ナド、サウシテ報告シナケレバナラヌト云フコトニナリマシテ、或場合ニ於テハ出外付ルデアリマセウケレドモ、之ヲ以テ必然ノ義務トスルニハ及ブマシ、寧ろ是ノ如キ請願ハ之ヲ政府ニ轉送シテ、政府ノ案ニ俟ツノ便ヲ利用スルモ亦可ナラズヤト云フ趣意ニ於テ、請願委員會ノ義務トセズシテ、自由ニ任セルコトニ致シマシタ、而シテ其會ノ義務トセズシテ、其會ノ自由ニ任セルコトニ云フコトハ、請願委員會ノ機能ヲ敏活ニ働カシムル所以デアリマス、因テ「修正」ヲ改メタルデアリマスガ、修正ハ之ヲ削リマシタ、法律案ニ提出者ノ請願委員長以外ニハ主査ヲ加ヘテアリマシタ、第二ニ原案ニハ此其譯ハ請願委員會ニ於ケル表決ノ結果ヲ報告スルコトハ、委員長當然ノ職權デアリノデアリマス、別ニ主査ヲ加フルノ必要ヲ認メマセヌ、主査ハ議院ニ於テ委員長ノ報告ヲ補助スルコトガ出來ルノデアリマスカラシテ、別ニ此規定ハ要リマセヌ、原案ノ如ク

或ハ委員長提出者タルノ權利ヲ有シ、又或ハ主査提出者タルノ權利ヲ有スルコト云フコトニシテ置クヨリハ、寧ロ全然委員長ノ職權ニ屬セシムル方ガ相當ナルト信ズルノデアリマス、勿論委員長差支アルトキハ、理事之ニ代リ得ベク、主査又之ヲ補助シ得ベキコトハ、衆議院規則第六十一條ニ立派ニ掲ゲラレタルアルコトデゴザイマスカラシテ、毫モ差支ハナカラウト存シマシテ、之ヲ削リコトニ致シマシタ、ツレカラ第四ニ原案第三ニゴザイマスル此「法律案ハ定規ノ賛成者ヲ要セス第一讀會ニ附スヘキモノトス」トアル條項ヲ全部削除シタル所以ハ、御承知ノ如ク常任委員ト云フモノハ、議會全體ガ事項ヲ限リテ、審判ノ權限ヲ全任シテアルノデアリマスカラシテ、言葉ヲ換ヘテ云ヘバ定規ノ賛成者ハ二百七十九名ハ常任委員モト推測ヲセネバナラヌデアリマスカラ、是ノ如キ無用ノ規定ヲ設ケル必要ハアルモノト云フコト、之ヲ削リコトニ致シマシタ(丸山嶮峨一朗君「議長」ト呼フ)マダ報告ハ終ラヌデス、是ガ委員會ノ修正ニ關スル經過ノ大體デゴザイマス、請願ノ權利ノ尊重スベキ所以デアルトカ、或ハ請願ノ道ヲ開イテ、民意疏通ノ門戸ヲ擴張セル必要ガアルトカ云フガ如キ理由ハ、茲ニ事ニシク論ズル必要ハアリマセヌカラ、唯是丈ノコトヲ報告シテ置ケバ、委員長ノ任務ハ終ルコト、存シマス

○丸山嶮峨一朗君 委員長ニ質問致シマスガ、向來ノ疑義ヲ避クルタメニ私ハ質問スル必要ガアリマス、第一ニ此規則ハ請願委員ノ權限ニ關シテ、是ハ解釋「明白ニセネバナラヌ」ト云フ必要カラ出タトコロノ案デアリマスガ、又新タニ權限ヲ請願委員ニ附與スル趣意ニ出タノアルカ、是ガ第一ノ質問デアリマス、第二ハ法律案ノ提出ト云フコトハ、政府及貴衆兩院ノ各議員ノ特權デアル、之ヲ請願委員ノ權限ノ中ニ入レヤウト云フ事柄ハ、憲法第五十一條ノ議院ノ内部ノ整理ト云フコト、少シ違フ意味デアラウト思フカラ、ツレデ其必要及理由ヲ聽キタイノデアル、第三ハ此權限ヲ與フル形式デアリマスガ、取扱規則ト云フ單行法デ出テ居リマスガ、何故ニ此議院法若クハ衆議院規則ノ改正ヲ以テシナイノデアルカ、其必要ナル理由ヲ聽キタイ、モウツハ其權限ヲ獨リ衆議院ノ請願委員ニノミ與ヘテ置クトキハ、貴族院ノ請願委員ノ權限ト權衡ヲ失フ嫌ガアリハシマセヌカ、其點ヲ質問致シマス

○花井卓藏君 御答致シマス、第一ハ權限ヲ明白ニシ、且請願ヲ有效ニスルト云フ趣意ニ出タ次第デゴザイマス、第一ハドウ云フノデシカシラス
○丸山嶮峨一朗君 第二ハ議院及政府ノ特權ニナデ居ルノヲ……
○花井卓藏君 分リマシタ、法律ヲ提出スル權限ハ、政府並ニ議院ニ屬シテ居ルト云フコトハ、爭ハゴザイマセヌ、委員會ニ於キマシテハ議院全體ヨリ委託ヲ致シテ居リマスル常任委員、即チ請願委員ト云フモノモ、矢張議員ト認メテ居リマス、又之ヲ除外スルト云フコトヲ認メマセヌ、寧ロ議院法ニ基ケル議院ノ提出ト同ジコト、認メテ居リマス、斯様ニ評定ヲ致シマシタ、言フマデモナク議員ニ發案ノ權ガアレバ、議員全體ヨリ委託ヲ致シマシタル委員ニ審查ノ結果ニ基ケル發案フスル——ツレヲ有效ニスルト云フノ機能アルト云フコトハ、疑ノナイ話デアリマス、ツレカラ第三ハ貴族院ト云フノデシカ

○丸山嶮峨一朗君 單行規則ニシタノハ……
○花井卓藏君 單行規則ニ致スコトハ、極メテ便利デアルト云フコトハ、單行規則ニ致シマスコトハ、不可ナリト云フ理由ヲ發見シマセヌカラ、左様ニ致シマシタ、第四ノ御問ハ貴族院「云々」ト云フノデゴザイマスガ、衆議院ト貴族院ハ各、獨立ノ内部整理ノ權限ヲ有スルノデゴザイマスカラシテ、議院法及憲法ハ内部ノ整理ニ關スル規則ト云フモノハ、兩院同様に趣意ニ於テ、作立デト云フ制限ハ設ケテアリマセヌカラシテ、寧ロ獨立ノ趣意ニ於テ此規則ヲ立デタノデアリマス
○竹越與三郎君 本員ハ提出者ノ一人デアリマスガ、委員長ノ報告ニ對シテ、異議ノナキノミナラズ、十二分ノ満足ヲシテ置キタイト思フ、故ニ直チニ二讀會ヲ開カレテ三

讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 是ハ讀會ハ要リマセヌデ、直チニ採決致シマス

○議長(杉田定一君) 委員長報告通御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、委員長報告通決シマシタ

○議長(杉田定一君) 日程第十一、東京市制案、第一讀會ノ續、委員長多田作兵衛君

第十一 東京市制案(江間俊一君外十名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

(多田作兵衛君登壇)

○多田作兵衛君 本案ニ對シマスル委員會ノ結果ヲ御報道申上ゲマス、委員會ハ種種調査ノ上、本案ハ本院ニ於テ可決スベキモノト請決致シマシタ、一體此案ニ付キマシテハ、去ル八日ノ第一讀會ニ於キマシテ、肥塚君ヨリ詳シク陳述致シテゴザイマス、故ニツレヲ紹介致スコト云フコトハ省イテ置クノデアリマス、東京市ハ智識ノ點カラ申シマシテモ、富ノ度合カラ申シマシテモ、近年著シク進歩致シテ居ルノデアリマス、明治二十二年ニ始メテ市制ヲ布カレマシタトキハ人口二百二十萬デゴザイマシタノガ、今日デハ二百二十萬ヲ越スリマス、殊ニ戰捷ノ結果、日本ノ地位ガ大ニ揚リマス共ニ、東京ノ地位ト云フモノモ揚ゲテ、ドウシテモ各府縣ニ行ハレマストコロノ五萬ヤ十萬ノ市ト同様ノ法律ノ下ニ東京府ヲ置クト云フコトハ出來ナイ、今日ノ場合トナリマシタノデアリマス、是等ガ本案ヲ提出セラレマシタルトコロノ趣旨デゴザイマス、今ニ一ヲ申シテ見マスレバ、此市ヲ代表スルコトコロノ市長ノ選任ト云フヤウナコトニ致シマシテモ、内務大臣ノ下デ直轄スルモノト、東京府知事ノ下ニ屬スルモノトノ二ツノ間ニ於テ、人ヲ選ムト云フコトニナリマシテモ、大ナル疑ガアルノデアリマス、其他萬般ノコトガ、本案ノ如ク内務大臣ノ直轄ト相成リマスレバ府廳ノ手ヲ經ルト云フヤウナ、種々様々ナル無用ノ手數ヲ省キマシテ、市制ノ上ニ於テ、大ナル進歩ヲ致スノデアリマス、是等ガ委員會ガ滿場御賛成下サイマシテ、會期モ切迫致シテ居ル今日デゴザイマス、故ニ二讀會、三讀會ヲ開カレマシテ、本案ノ可決確定スルコトヲ切ニ希望致シマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 採決致シマス、本案ニ付イテ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハ無イト認メマス

○大岡育造君 直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ可決確定セラレンコトヲ希望致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ可決確定スルニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開イテ全部ヲ議題ト致シマス、委員長報告通御異議ハゴザイマセヌカ

東京市制法案

確定議

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ、日程第十二、是ハ委員長ヨリ延期ヲ申出テ、居リマスガ、延期ニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ナイト認メマス、延期ニナリマシタ、日程第十三、齒科醫師法案、第一讀會ノ續、委員長鵜飼退藏君

第十三 齒科醫師法案(青柳信五郎君外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長)

(鵜飼退藏君登壇)

○鵜飼退藏君 齒科醫師法案委員會ノ願末ヲ御報告致シマス、本案ハ曩ニ本院ノ決議ニナリマシタトコロ、醫師法案ト相並行シテ、相待テ完全スルモノデゴザイマシタ、委員會ニ於キマシテハ、十分鄭重ニ審査ヲ致シ、政府ノ意見モ聽取リマシタ、曩ニ諸君ノ御手許ニ配付ナリマシタ通り修正スベキモノト議決致シマシタ次第デゴザイマス、其修正シマシタ重ナル趣意ハ第二條デゴザイマスガ、提出案ノ第二條ヲ減削致シマシタ、是ハ要スルニ醫師タル者ハ、齒科醫師タルノ技能ヲ有スルコトハ、固ヨリ當然ノコトデゴザイマシタ、特ニ此二條ヲ設クルノ必要ハナイト云フ趣意ヨリシテ、之ヲ減削致シマシタ主趣デゴザイマス、其他各條ニ涉リマシタ、多少ノ修正ヲ加ヘマシタノハ、曩ニ決議ニナリマシタ醫師法案ト鈞合上、大凡ソレニ依テ修正シタ外ナラヌデゴザイマス、冀クハ委員會ニ於キマシテモ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ修正案デゴザイマスカラ、本會ニ於テモ滿場一致ヲ以テ御決議アラントラ希望シマス

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ニ付イテ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○青柳信五郎君 直チニ二讀會ヲ開イテ、三讀會ヲ省略シテ、確定セラレントラ望ミマス

○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定スルニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開イテ全部ヲ議題ト致シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

齒科醫師法案(青柳信五郎君外一名提出) 確定議
○議長(杉田定一君) 委員長報告通 御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定ヲ致シマシタ、日程第十四、明治三十八年法律第七十號中改正法律案第一讀會ノ續、委員長大淵龍太郎君

第十四 明治三十八年法律第七十號中改正法律案(國井庫君外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長)

○大淵龍太郎君 明治三十八年法律第七十號中改正法律案、此委員會ノ經過ト結果トヲ御報告シマス、此法律ハ御承知ノ通りニ刑ノ執行猶豫ニ關スル

法律デゴザイマシテ、同法ニ依リマスレバ、刑ノ執行ノ猶豫ヲ受ケマスルノハ監視ヲ附加セザル禁錮一年以下ノ刑ヲ言渡サレタル者ニ限ルノデゴザイマス、其範圍ガ極メテ狹ク、隨テ其效用モ餘リ多カラザルト云フ點カラシテ、今少シ其範圍ヲ擴張シ、一年ヲ二年ニシタイ、且同法ノ第一條ノ但書ヲ削ッテ、監視ヲ附加スベキモノモ、犯情ニ依テハ刑ノ執行猶豫ヲ與ヘタイト云フコト、今一ツハ第五條ノ法文ハ、暗々裡ニ被告人ヲ威嚇スルト云フヤウナ意味ニ聞ヘテ、且不穩當ノ點ガアルト云フコトカラシテ又實際上ハ餘リ必要デナイノデアルカラ、之ヲ修正シタイト云フノガ、即チ本案改正ノ要旨ノヤウデゴザイマス、委員會ハ二回開キマシタ、審査ヲ致シマシタガ、實施以來此法律ニ依テ刑ヲ執行ヲ受ケマシタ者ガ、全國デ千零九十二人デゴザイマシタ、其結果ハドウデアルカト言ヒマス、内十七人ガ再犯ハ前科ガ發覺シマシタメニ取消サレ、五名ガ逃亡ト云フコトニナテ居リマシタ、詰リ執行ヲ受ケマシタモノ、内二十二人が不成績ニナテ居リマシタデゴザイマス、委員會ニ於キマシテモ此法律ハ一般ニ歡迎サレテ居リマシタ、頗ル其法アルシ、又成績モ右申シマシタ通りニ宜シイデアルカラ、願クハ其範圍ヲ擴張シテ、尙進テ無制限シテ一般ノ罪人ニ應用シテ、其運用ヲ裁判官ニ一任シタイト云フ考ハアリマシタガ、併シ本法ハ今試驗中デゴザイマシタ、實施日尙淺ク、隨テマダ十分ノ經驗モナイノデゴザイマス、故ニ今暫ク舊ノ如ク一年トシテ、唯差當テ必要ヲ感ジテ居ルトコロノ監視ヲ附加スベキ犯罪ニモ、情狀ニ依テハ執行猶豫ヲシタイト云フコトニ止マッテ、詰リ幾分ノ範圍ヲ擴張ムルコトニシタイ、ソレカラ又第五條ハ穩當ニシテ、且何レニモ差支ナイトコロノ法文ニ改メテ、之ヲ實施シタ方ガ宜シカラウト云フコトニナッテ御手許ニ配付シテアリマス報告書ノ如ク修正ヲ致シテ、可決ヲ致シタノデゴザイマス、宜シク御審議アラントラ願ヒマス

○森肇君 竊ハ本案ニ付イテ反對ノ意見ヲ簡單ニ——私ハ極ク簡單デゴザイマスカラ、當自席カラ申上ケマス、本案ハ只今委員長ヨリモ御報告ニナリマシタ通り、未ダ此法律實施後滿一年ヲ經過セナイトコロノ法律デゴザイマス、其法律ヲ改正セラル、ト云フトコロノ理由ハ、此實施ノ上ニ於テ、即チ實驗ニ徴シテ其範圍ノ狹隘ナルコトヲ認メタカラト云フコトデゴザイマス、併シ此法律ヲ實施シマシタトコロノ結果、其範圍ノ狹隘ナリシヤ否ヤト云フコトニ付イテモ、十分ニ調査ハ出來テ居ラヌト云フ、今試驗中ナラヌ、此法律ハ各國ニ於テモ、必シモ各國ガ實行シテ居ルトコロノ法律案デヤナイ、誠ニ新規ノ嶄新ナルトコロノ法律案デアリマス、故ニ前讀會ニ於テ此法案ヲ設定スル場合ニ當テモ、十分慎重ナル審議ヲ盡シタノデアリマス、今御報告ニナリマシタトコロノ但書ヲ削除スル、即チ監視ノ附加シテアルトコロノ者ニ猶豫ヲ與ヘルヤ否ヤト云フ點ニ付キマシテモ、十分ニ審議討論ヲ盡シタ問題デ、其理由ヲ私ガ此處デ申上ケルマデハナイ、ソコデ既ニ委員長ヨリ御報告ノ通り、一年ヲ二年トスルト云フコトハ、矢張原案ノ通りニ一年ニスルト云フ委員會ガ説ヲ取ラレタナラバ、矢張其同一ノ理由、同一ノ筆法ヲ以テ、此但書ヲ削除スルト云フコトモ否決セラレナケレバナラヌ理由ノモノト考ヘマス(「ウウ」ト呼フ者アリ)ソレデ此實施ノ結果ハ、ドウデアルカト云ヘバ、極メテ當局者ガ曖昧ナル極ク杜撰ナル調査ニ於テ、僅カ一千九十四人、其中ニ於テ再犯若クハ逃亡等ノ者ガ、二十幾名、此結果デ云フナラバ、誠ニ此法律ト云フモノハ適法ニ執行セラレツ、アルノデアリマス、併シ政府委員ガ答辯シテ居リマス通、此通ノ有様ヲ以テ、此法律ガ執行セラレツ、アルヤ否ヤト云フコトハ、到底保證ノ出來ナイ點デアリマス、私ガ考ヘマスルニ先ヅ第一ニ此監視ヲ附加シテ居ルトコロノ、此但書ヲ削除スルト云フ點ニ付キマシタハ、此監視ヲ附加スルト、附加ナイト云フコトハ、刑法ノ正文ニ於テ極メテアルノデ、監視ヲ附加スルトコロノ犯罪ト云フモノハ、十分情狀ガ重イ、言ヒ直シテ見レバ破廉恥罪等ニ多イノデアリマ

スカラ、直チニ此但書ヲ削除スルコト云フガ如キハ、所謂吾々ガ立法者トシテ法律ヲ改正スルコトノ權利ヲ自ラ輕蔑スルコト云フコトナリマス、即チ前期ニ於テ審議ヲ盡シテ居ルモノヲ茲ニ於テ直チニ未ダ實際ノ結果ト云フモノヲ得ナイノニ、之ヲ改正シヤウト云フガ如キ、實ニ朝令暮改ノ誹ヲ免レナイと思ヒマス(ノウ)ト呼フ者アリ)ソレカラ尙私ハ第五條ヲ削除スルコト云フコトノ御説ガアリマスガ(擴張)ト呼フ者アリ)擴張ナラ擴張ト言給ヘー第五條ノ如キハ全部削除スルコト云フ如キハ、是ハ私ハ一向理由ガナイト思ヒマス、所ガ第五條ニ付イテ一層分ラナイコトヲ修正案ガ出テ居リマス、併シ此第五條ニアル本案ハ、ドウ云フ意味デアッタカト云フナラバ、即チ此刑ノ言渡ヲ受ケテ、其第一審ノ裁判ニ於テ、刑ノ執行猶豫ヲ受ケテ裁判ニ對シテ、若シ上訴ヲ爲ス場合ニ於テハ、其刑ノ執行猶豫ノ判決ハ、其效力ヲ失フコト云フコトニナリテ、併ナガラ上訴裁判所ニ於テ、尙ソレニ執行猶豫ヲ與フベキモノト云フ考ガ起リマシタトキハ、其裁判官ニ此裁判ヲ與ヘルコトノ自由ト云フモノヲ與ヘテ居ルノデアル、此第五條ヲ削除シテ、之ヲ如何ニ變更セラル、ノデアルカト云フナラバ、斯ウ云フコトノ變更ニナリテ居リマス、此上訴裁判所ガ執行猶豫ヲ與フベカラザル刑ノ言渡ヲ爲シタルトキハ、執行猶豫ノ裁判ハ當然其效力ヲ失フ、是ハ或ハ第一審ニ於テ、一年以下ノ猶豫ヲ言渡シテ、ソレカラ執行猶豫ヲ受ケテ、控訴ヲシタルコトニ當テヤウト云フ意味カラ修正シタルモノデアラウト思フ、併ナガラ此原案ハ即チ現行法ニアルコトノ第五條ニ於テ、少シモ提出者若クハ修正者ノ非難スルガ如キ、弊害ト云フモノハ認メナイ、ナゼナラバ此刑ノ執行猶豫ノ法文ト云フモノヲ強テ其上ニ於キマセヌデモ、第一審ノ裁判所ニ於テモ、上訴裁判所ノ裁判官ニ於テモ、自由ニ斟酌シ得ルコトナル、然ルニ之ヲ改正スル理由ハ何デアアルカト云フト、其弊害ヲ認ムルト云フコトデアリマスガ、少シモ弊害ハ認メナイ、故ニ私ハ此案ニ對シテ、反對ヲ致シマス、即チ委員長ノ報告ハ全然反對ヲ致シマス、故ニ宜シク本案ハ否決アラント望ミマス

○入江武一郎君 私モ此案ニ賛成ヲ致シマスルニ付イテ、別段長イ演説ハ致シマセヌカラ、此席カラ申述ベマス、唯今森肇君カラ反對ノ御演説ガアリマスガ、先ヅ其反對サレル要旨ト云ヒマスモノハ、何デアアルカト申シマス、第一ハマダ此法律ハ試驗中ノモノデアアルカラ、サウ擴クスルコトハ宜シクナイ、斯ウ言ハレルノガ、第一ノ理由ト承リマシタ、所ガ實際此法律ヲ施行シマシタ以來、此監視ヲ附スル犯罪ニ付キマシテハ、刑ノ執行猶豫ヲ與ヘナイコト云フコトニ付イテハ、實際其狹隘ナルコトヲ感ジテ居ルト云フ事柄ハ、是ハ今日此法律ヲ執行シマシタ以來、此法曹界ニ從事サレテ居ル人ハ、皆感ラ同ウシテ居ルコト、考ヘマス、又實際ニ於キマシテモデス、此監視ヲ附スベキ犯罪ニシテ、極ク一年以下ノ輕微ノ犯罪デ、サウシテ監視ヲ附セナイコトノ犯罪者ニ對スルヨリハ、尙執行猶豫ノ此恩典ヲ與ヘマスル方ガ最モ宜シキモノデアルト云フ話ガ、實際ノ裁判所ニ於テ現ハレ來テ居ルト云フコトモ、是ハ事實デアリマス、サウ云フ場合ニモ此法律ガアリマスガタメニ、此場合ニ於テ刑ノ執行猶豫ヲ與ヘルコトガ出來ナイ、即チ監獄制度ノ完全ナル拘ハラズ、監視附ノ者ヲ監獄ニ入レテ、サウシテ尙其惡事ヲ學バセルト云フヤウナ弊害ヲ醸出スルハ、何デアアルカト云フト、監視ト云フモノハ刑ノ執行猶豫ヲ與ヘナイコト云フ、窮屈ナル制限アルタメデアリマスカラ致シマシテ、是ヲ擴メマシテ、監視ノ附タベキ者ニモ、同ジク刑ノ執行猶豫ヲ與ヘルコト云フコトハ、當然ノコト、考ヘマス、加之今日ハ裁判官モ進歩致シテ居リマスル裁判官デアラス、其裁判官ガ事情ヲ斟酌シテ、此被告人ニ對シテハ執行猶豫ヲ與フベキモノデア

ヤ否ヤト云フコトヲ審判ヲ致シタ上デ、之ヲ與ヘルノデゴザイマスカラ致シマシテ、此法律ノ上ニ此制限ヲ附シテ置カケタモ、實際更ニ差支ハナイモノト考ヘマス、ソレカラ又森君ハ昨年此法律ヲ作ッタモノデアアル、然ルニ直ニ本議會ニ於テ、是ニ改正ヲ加ヘルコト云フガ如キ、朝令暮改ノ朝令暮改ノ誹ヲ免レヌ、斯ウ云フコトガ一ノ理由ニナリテ居タヤウデアリマスガ、是ハ實ニ間違ヒ切タ御論デアルト考ヘル、何トナレバ此法律ハ昨年始メテ執行致シマシテ、サウシテ其執行後其法律ガ此點ガ惡ルイト云フコトガ發見サレマシタ以上、之ヲ改正スルコト云フコトハ、何ノ憚ルコトガアリマセウ、此法律ハ即チ惡ルイコトガアル、茲ニ缺點ガアルコト云フコトヲ發見シナガラ、即チ近イ間ニ指ヘタ法律デアアルカラ、朝令暮改ノ虞ガアルカラ、我慢シナケレバナラヌ、斯ノ如キコトハ實ニ不當極タコトデアルト考ヘマス、ソレカラ又第五條ノ修正案ハ實ニ分ラヌ修正案デアルト云フ御論デゴザイマシタガ、是モ亦其森君ノ御論官ガ分ラヌ御論官デアルト考ヘル、何トナレバ元來此上訴シタ場合ニ於テ、此刑ノ執行猶豫ノ裁判ハ、當然其效力ヲ失フコト云フ法文ハ、實ニ是ハ不可思議ノ法文デアアル、不可思議ナ法文デアアルガ、此法文ヲ指ヘテ置カケレバ、ソレハ違刑罪ニ處分サレルカ、或ハ罰金刑ニ控訴院ニ於テ處罰シタルコトニ於テハ、控訴ニ於テ被告人ニ利益ノ判決ヲ與ヘラレナガラ、此刑ノ執行猶豫ノ裁判ガ長ク殘リテ居ル如キ、感ジガアッテ、妙ナモノニナリマスカラ、此法文ヲ置カケレバナラヌト云フコト、即チ此五條ガ設ケラレタ所以デアアル、所ガ此第五條ガ斯ノ如キ理由ノ下ニ設ケラレタノデゴザイマスカラ致シマシテ、此第五條ヲ改正致シマシテ、即チ上訴ノ場合ニ於テ、違刑罪若クハ罰金ノ刑ノ如キ即チ刑ノ執行猶豫ヲ與ヘルコトノ出來ナイ判決ヲナシタ時分ニハ、當法其效力ヲ失フコト云フコトニ改正ヲ致シマシテ、サウシテ一般ノ場合ニ於テハ、效力ヲ失ハナイコト云フ法律ヲ此處ニ指ヘテ置クト云フ事柄ハ、是ハ最モ當然ナコトデアラウ、現ニ此上訴ノ場合ニハ、當然其效力ヲ失フコト云フ明文ガアルタメニ、此處ニ第一審ニ於テ有罪ノ判決ヲ受ケ、其者ガ刑ノ執行猶豫ノ判決ヲ併セテ得タト云フ場合ニ於テ、此被告人ハ無罪ナルコトヲ信任ヲ致シテ居ルト云フ場合ニモ、此刑ノ執行猶豫ハ上訴致シタナラバ、直チニ其效力ヲ失フコト云フ明文ガアルタメニ、其冤ヲ雪グコトガ出來ナイコト云フコトハ、往々アルノデゴザイマスカラ致シマシテ、當然其效力ヲ失フコト云フ、其窮屈ナル法文ヲ取ッテ除ケテ、十分其權利ノ伸張ヲサシメルト云フ事柄ハ、是ハ當然然ルベキ事柄ト考ヘマス、以上ノ理由デゴザイマシテ、尙此點ニ付イテ述ベマスレバ、長クナリマスカラ、コ、ラデ略シテ置キマスガ、ドウカ御賛成アラント希望致シマス

○司法大臣松田正久君登壇

○司法大臣(松田正久君) 本案ニ付イテハ、政府ハ遺憾ナガラ反對ヲ致サナケレバナリマセヌガ、既ニ委員會ニ於テモ、政府委員ヨリ反對ノ理由ハ一通リ述ベテ居リマス、又今森君ヨリモ反對ノ理由ヲ述ベラレマシタガ、之ニ對シテドナカノ賛成ノ意見、隨分御熱心ノ御演説モ承ッタデアリマスガ、既ニ委員長、言換ヘレバ委員會ニ於テ、此刑ノ執行猶豫ハ漸ク昨年ヨリ始タモノデ、今日ガ試驗中デアルト云フコトモ、今言ハレタノデアアル、其通りデアアル、昨年以來此法ヲ實施シテ、尙猶豫期限中ニアルモノガ多イデアアル、此場合ニ於テ、直チニ又小刀ヲ入レテ、年々歳々之ヲ改正シテ往クト云フコトハ、誠ニ適當トハ思ハレヌデアリマス、殊ニ但書ヲ削リテ見レバ、監視ニ付シタルコトノ竊盜犯ノ如キモ、場合ニ依ッテ猶豫ノ恩典ニ與ルト云フ、併シ斯ノ如キコトハ尙我日本ノ社會ノ狀態ニハ適當致サナイモノト認メマスカラ、先ヅ暫ク現行法ニ據ッテ、經驗ノ後ニ之ヲ如何ニ改正スルコトモ、取テ遲シトハ思ハヌデアリマスカラ、遺憾ナガラ政

府デハ反對ヲ致スノデアリマス、一體ハ諸君ノ御提案ニ付イテ、政府ハ出來得ル限り、同意ヲ致スト云フ考ヲ持テ居ルノデアリマス、併ナガラ本案ノ如キ、又此次ノ日程ニアルトコロノ民事訴訟法ノ改正、若クハ監視廢止ノ如キニ至ッテハ、同意ヲ表シヤウト思ッテモ、今日ノ場合デハ出來マセヌカラ、誠ニ遺憾ノ次第デアリマスルケレドモ、政府ハ反對ヲ致シテ置キマス

〔採決〕「呼フ者アリ」

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ニ付イテ二讀會ヲ開クベシト云フ御方ハ起立ヲ願ヒマス

起立者

〔多數〕「呼ビ又」少數「呼フ者アリ」

○議長(杉田定一君) 少數デアリマス、二讀會ヲ開クベカラズト云フコトニ決シマシタ

○加瀬禧逸君 採決ニ對シテ異議ガアリマス

○議長(杉田定一君) 異議ノ申立ニ定規ノ賛成ガアリマス

○議長(杉田定一君) 異議ノ申立ニ御同意ノ御方ハ起立ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 異議ノ申立ニ定規ノ賛成ガアリマスルデ、記名投票ヲ以テ採決致シマス

○議長(杉田定一君) 閉鎖——閉鎖、定足數ニ滿チマセヌカラ、今日ハ是ニテ散會ヲ致シマス——報告ガアリマス

〔贊成、公明正大〕「呼フ者アリ」

○議長(杉田定一君) 閉鎖——閉鎖、定足數ニ滿チマセヌカラ、今日ハ是ニテ散會ヲ致シマス——報告ガアリマス

〔書記朗讀〕

一 貴族院ハ本院送付ニ係ル政府提出鹽專賣法中改正法律案及本院提出蠶病豫防法中改正法律案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

一 屯田兵恩給ニ關スル建議案

提出者 淺羽

靖吉君

金子

元三郎君

松井

源内君

柳田

藤吉君

内山

吉太君

中西

六三郎君

吉植 庄一郎君

一 花井卓藏君小川平吉君藤崎朋之君谷澤龍藏君丸山嵯峨一郎君小河源一君

宮古啓三郎君後藤文一郎君磯部四郎君江間俊一君加瀬禧逸君富島暢夫君

米田實君森田卓爾君望月長夫君石田仁太郎君角田眞平君奧繁三郎君岡井

藤之丞君淺見竹太郎君福岡精一君立川雲平君森肇君大熊三之助君村松龜

一郎君關信之介君北村左吉君藤澤幾之輔君守屋此助君大淵龍太郎君ヨリ

刑事事件統計表ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

刑事件統計表ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十九年三月二十二日

提出者

花井卓藏

小川平吉

藤崎朋之

谷澤龍藏

丸山嵯峨一郎

小河源一

磯部四郎

宮古啓三郎

後藤文一郎

磯部四郎

磯部四郎

贊成者

尾崎行雄

守屋此助

大淵龍太郎

外三十一人

刑事事件統計表ニ關スル質問主意書

近時各裁判所ニ於テ刑事事件ヲ審判スルニ當リ拙速ヲ專ラニシテ慎重ヲ缺クノ弊アリ而シテ其源ク所實ニ司法大臣カ事件統計表ナルモノヲ作リ之ニ因リ司法官ノ手腕ヲ批判スルノ料ニ供スルカ爲ナリト聞ク果シテ如斯事實アリヤ

〔參考〕

一 公廷ニ於テ此案件ハ長官ノ注意若クハ命令アリ事情ノ如何ニ拘ラス延期ヲ許サスト明言スルモノアリ

二 病氣事故如何ナル事情ニ關セス漫リニ事件ノ進行ヲ急キ全然延期ヲ許サルコトアリ

三 重大ナル案件ニ關シ全ク證據調ヲ許サルコトアリ

四 辯論ヲ盡サシメシテ徒ラニ結審ヲ急キ事ノ真相ヲ究メサルモノアリ

五 私選辯護人アリテ相當ノ理由ヲ具シ延期ヲ乞フモノヲ許サス即時公廷ニ於テ辯護人ヲ官選シ故ラニ事件ノ進行ヲ敢テシタルモノアリ

前各項ノ事實ト判檢事ノ氏名トハ本員等之ヲ證明スヘキ道ヲ有ス

右及質問候也

○議長(杉田定一君) 次ノ日程ハ追テ公報ヲ以テ御通知ヲ致シマス、今日ハ是ニテ散會ヲ致シマス

午後四時十九分散會

衆議院議事速記録第十八號正誤

頁 段 行 誤 正
三四三 上 四〇 全科五條 金科五條